鶴翔
kakusho

今年も みんなで集まろう!

[鶴翔]第43号
平成25年4月23日発行
発行　東京鶴翔同窓会
発行人　篠﨑　実
（53年85回卒）
編集人　仁平則行
（53年85回卒）
題字／故・田倉八郎氏（初代会長）

第43回 総会のテーマ

つながろう! 世代をこえて

おれも行ぐさげ おめも来い!

今回のテーマが決まったときから、「世代をこえて楽しめる会」、「仲間を誘って参加したくなる会」にすることが、われわれ実行委員会の命題でした。 史上最多の参加人数で盛り上がった昨年の実行委員会からバトンを受け「何をどうやったらよいのか…」。とにかく、つながりました。これまで案内が送られていなかった後輩たちにもハガキを出しました。Facebookも活用しました。あとは、皆様の参加を待つだけです。「つながろう! 世代をこえて　おれも行ぐさげ、おめも来い!」ご参加を心よりお待ち申し上げております。

第43回 東京鶴翔同窓会のご案内

●日時：平成25年6月15日（土）14:00〜16:30（受付開始13:00）

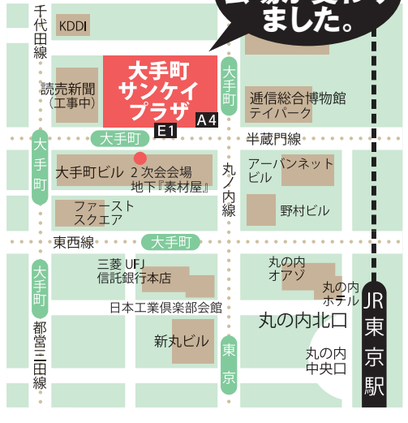
●場所：大手町サンケイプラザ4階ホール
千代田区大手町1-7-2　☎03-3273-2258〜9

●交通：[地下鉄]丸ノ内線、東西線、千代田線、半蔵門線、三田線で大手町下車（A4・E1出口直結）[JR線]東京駅丸の内北口より徒歩約7分

●会費：一般会員……8,000円
高齢会員（昭和25年卒以前）
……4,000円
学生会員……4,000円
他に東京鶴翔同窓会年会費、一口1,000円ですが、二口以上のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

★出欠の返事：5月19日(日)までに同封のハガキ、または東京鶴翔同窓会ホームページにてお願いします。
http://www.tokyokakushou.com
※名札を作りますので必ずお返事をお願いします。

2次会は!　17:00より向かい大手町ビル・地下『素材屋』（地図参照）にて。



↑昨年、42回総会の模様（撮影／渡邊春信・83回卒）

—第43回 東京鶴翔同窓会— イベントのご案内

歌で つながろう!

田中宏プロデュース、世代をこえて、歌おう! 歌おう!

95回卒の田中宏さんが、一緒に活動を行っている若い仲間や、庄内うたう会の皆さんと、楽しい歌のステージを演出します。皆さんもご一緒に大きな声で楽しく歌いましょう!

また、 世界的に活躍されているヴァイオリニストの中村ゆかりさんが特別参加し、コラボレーションしてくれます。これは大変なことになりそうですね!

●中村ゆかりさんは、東京鶴翔同窓会の設立にもご尽力された故中村信雄先輩のお嬢様です。

●左から指揮・編曲の田中宏さん、テノール歌手の佐藤よしをさん(102回)、ソプラノ歌手の石井優さん(104回)。そして、昨年の総会でも大活躍だった庄内うたう会の面々。

じゃんけんで つながろう!

世代をこえて、じゃんけんぽん!

全員で大じゃんけん大会をしましょう。賞品は、故郷のおみやげを用意しています。

食で つながろう!

懐かしい故郷の味、忘れかけてたあの味を今年も腕によりをかけて仕込みます。

笹巻き、孟宗汁、だだちゃ豆もちろん庄内の地酒も飲み放題。

映像で つながろう!

大画面の映像でつづる庄内の風景!

大好評だった昨年の映像をグレードアップして、今年もなつかしい庄内の美しい山河を映写します。まだご覧になっていない同窓生の皆さん、300インチの大画面は必見です。

JAの販売コーナー開設予定

写真提供／鶴岡市観光物産課、つるおか おうち御膳（鶴岡市農政課）

ヒコバエと灯台

東京鶴翔同窓会　会長
菅　徹（昭和37年69回卒）

昨年、私ども69回生は卒業50周年を迎えました。母校に別れを告げたのは昭和37年3月のことであり、世はあげて高度経済成長に突き進み、東京オリンピックを迎える工事の喧騒とせわしない都会暮らしのなかに放りだされた、ぽーっとのどかな庄内的田舎ボーイでありました。

爾来、時の経過とともに日々遠くなる故郷のことも気にならなくなり、幼いころの記憶も薄れがちで、「ふるさと」が意識から消えようとしていました。

それから25年ほど経た44歳頃のある日、突如「ふるさと」が現実のものに復活したのです。それは、舞い込んだ「総会実行委員会を手伝え」との召集令状（電話？）によるものでした。実行委員会とは何ぞやと恐る恐るはせ参じた神田の荘内銀行東京支店会議室には30年、40年前の「ふるさと」そのものが再現されていて、大先輩方が兄貴や叔父貴のごとく「ヨグキタノー〃　オメダバ、ツルオガノナニマヂダモンダ？」「ンダバ、一小、一中ダガ」のお尋ねに、おーこりゃ、鶴岡そのものだと感激したのでありました。

あれ以来「同窓会」に絡め取られて更に心地よい25年が経過しました。同窓会長って何だと問われれば、きっと「偉大な先輩達が育てた巨木に青々と生えるヒコバエを見守る庭師かなー」とか「おーい、ここに来いよ、ふるさと在るぞ、と沖を行く小船に光をともし続ける灯台守みたいなもんでしょうなー」と答えます。

今年も灯台の周りにはふるさとなつかしい人々の顔があります。屋台も出て賑わいます。また総会でお会いしましょう。

世代を超えて

鶴翔同窓会　会長
石黒　慶一（昭和35年67回卒）

菅会長をはじめとする東京鶴翔同窓会の皆様には、日頃から本部同窓会活動に格別のご支援を賜わり、心からの感謝を申し上げます。

第43回東京鶴翔同窓会が本年は85回同窓生を中心に盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。本年度のテーマは「つながろう！　世代をこえて　おれも行くさげ　おめも来い！」と伺っておりますが、現在の希薄な人間関係を見つめ直す良い機会になるものと期待しております。松尾芭蕉の言葉と言われる「不易流行」という言葉がありますが、我々は今「変えなければならないこと、変えてはならないこと」のけじめをつけなければならない時ではないでしょうか。世代を超えた同窓生の絆は変えてはならないことであり、一方、同窓会の在り方は時代にあった変化を遂げなければならないと思います。本年、母校は創立125周年を迎えます。ただ単なる親睦団体から、母校や後輩を支援する同窓会活動へと変わるには、過去の延長線上では発展はありません。

私は会長職に就任以来、母校の発展のために同窓会に何ができるかを考えてその職務を務めてきたつもりですが、特に、若い世代の方々の同窓会に対する熱意の足りなさを危惧しております。超高齢社会が間近に迫っている今こそ世代を超えた同窓生の一体感が健全な同窓会の意義を築くものと思います。創立150周年を迎える25年後に母校そして鶴翔同窓会が光を放つためには若い同窓生の力がどうしても必要と考えます。

—庄内の歴史と風土をたずねて—
公益財団法人 致道博物館
〒997-0036山形県鶴岡市家中新町10-18
TEL 0235-22-1199
http://www7.ocn.ne.jp/~chido/
E-mail：chido@axel.ocn jp

あいたい！ ふるさとへの近道

鶴岡江戸屋敷
鶴岡市東京事務所
〒134-0088 江戸川区西葛西7-28-7
TEL 03-5696-6821
FAX 03-5696-6822
E-mail：tokyo@city.tsuruoka.yamagata.jp

International Wine Challenge 2009,TROPHY
WGO 2012 最高金賞受賞
2012 全国新酒鑑評会 第一部 連続金賞受賞記録
日本最高記録
米・水・人・神　100%地讃地匠
白露垂珠　風土を醸す 竹の露（資）

手造りの味
つけもの処 本長

〒997-1124
山形県鶴岡市大山 1-7-7
フリーダイヤル 0120-330-878
FAX：0235-33-0878
http://www.k-honcho.co.jp
鶴岡駅前・本長商店　TEL：0235-22-0616

初宮・安産祈願・厄除 等
越谷 香取神社
宮司　小林 桂子（昭46卒）
〒343-0025　埼玉県越谷市大沢3-13-38　TEL048(975)7824
HP　http://www16.ocn.ne.jp/~katori/

おびっだが？庄内弁　**あだる** = 手をかざす→「まず、火さあだれ」=「さあ、火に手をかざしてください」　**あべ** = 行こう、来い→「まず、あべ」=「さあ、一緒に行こう」　**いしな** = 石、小石(いしなんこ)　**いづどこえで** = 一度に→「いづどこえでもていがえが」=「一度に持っていけますか」

御礼の挨拶に代えて

鶴岡南高等学校前校長
田中　芳昭（昭和46年78回卒）

昨年の東京鶴翔同窓会には、義父の葬儀と重なり出席できず申し訳ありませんでした。参加者数も激増し、従前の会場では手狭になり大手町サンケイプラザに変更しての開催でしたが、大盛況だったと伺っております。

平成25年3月に退職する自分が、6月に開催される東京鶴翔同窓会会報に文章を載せるということに不思議な気持ちがしますが、今までお世話になったお礼に代えて母校の平成24年度の活躍状況について述べさせていただきます。

まず第一に、スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）の指定を受けたこと。全国に５５００以上ある高校の中で、東京の日比谷高校など１７８校が指定され、大学や研究機関と連携して探究的な学びを取り入れ、「科学技術の発展を担う高い志を備えた『人財』の育成」を目指しております。科学部の研究は全国総合文化祭で文化庁長官賞に輝きました。

部活動の躍進も目覚ましく、弓道部男女団体、水泳部がインターハイに出場し、弓道男子は山形県勢としては46年ぶりに3位になり、水泳でも個人7位入賞を果たしました。また、吹奏楽研究会が全日本吹奏楽コンクールに出場し、全国の舞台で堂々と鶴南サウンドを響かせました。残念ながら悲願の甲子園出場とはなりませんでしたが、野球部が「春の選抜21世紀枠」の山形県推薦を得ました。今後の活躍に期待するところです。

現役の高校生の時、教員（サッカー部顧問）として、そして最後に母校の校長として、東京鶴翔同窓会の皆様には大変お世話になりました。世代を超えて、益々のご発展を願っております。

住み続けたいと思う地域社会へ

鶴岡市長
榎本　政規（昭和43年75回卒）

東京鶴翔同窓会の皆様には、日頃より鶴岡市の発展に格別のご理解とご協力をいただいており、特に観光資源のＰＲや企業誘致などでは一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から二年余り経ちますが、皆様にはこれまで心温まるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。現在、本市には約３３０名の方々が避難されております。市では、避難者への対応は勿論のこと、被災地に職員を派遣するなど、できる限りの支援を続けて参る所存であります。

さて、本市ではこの一年間、様々な出来事がありました。昨年３月の日沿道・温海―鶴岡間開通に続き、本年１月までには新潟県境の朝日―温海間が都市計画決定され、全線開通に向け大きく前進しました。今後は、早期事業化を目指し、更なる運動を展開して参ります。

また、慶応義塾大学先端生命科学研　究所が設置されてから12年が経ちますが、この度、先端研初のベンチャー企業と自動車部品製造企業による工場建設が発表されました。両社は、次世代の新素材である合成クモ糸の量産化に向け、事業を展開する予定です。

この他、昨年に引き続き、地域の食文化を産業や学術の振興に活かしていくため、食文化でのユネスコ創造都市ネットワーク加盟の取組みを進めており、２月には申請書を本部に持参したところです。

今後も、こうした地域の未来を拓く事業の支援と推進に努めて参りますので、引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。

結びに、東京鶴翔同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

湯野浜温泉に泊まって『運転免許』を…
鶴岡自動車学園
代表取締役　齋藤 征士（昭和37年）
safety drive & good manner since1963
〒997-0045　山形県鶴岡市西新斎町6-34
TEL0235-22-6200（代）
http://www1.ocn.ne.jp/~tsuruoka/　E-mail：tsurums@poplar.ocn.ne.jp

日本海と庄内平野を一望する
[白砂青松コース]
湯の浜カントリークラブ
TEL・0235（75）2044

栄光富士
創業1778年　手作りの酒造
冨士酒造株式会社
鶴岡市大山三丁目32-48　TEL 0235-33-3200
お酒は20歳になってから。

酒造資料館あります
映画上映・試飲コーナーなど
酒王 初孫
東北銘醸株式会社
酒田市十里塚字村東山125番地の3
TEL 0234（31）1515　FAX 0234（31）5588
URL　http://hatsumago.cp.jp

「あったらいいな」に応えます。
荘内銀行
© SONY CREATIVE PRODUCTS INC.

JTB2011年度総合評価表彰受賞（アンケート90点以上）
楽天トラベルアワード2011プレミアム部門お客様アンケート大賞受賞
湯田川温泉 開湯1300年
山形県 湯田川温泉　九兵衛旅館　別館 たまや 珠玉や
【平日2名様1室】九兵衛旅館 15,225円～／珠玉や 13,650円～
〒997-0752 山形県鶴岡市湯田川乙19　ホームページ 九兵衛旅館 検索
TEL.0235（35）2777 代表取締役社長 大滝研一郎（昭和62年卒）

おびっだが？庄内弁　**うだる** = 捨てる→「うだてこえ」=「捨ててこい」　**うるがす** = 水に浸す→「使ったてしょ、うるがしておげ」=「使った皿、水に浸しておいて」　**えらすぐね** = 可愛げがない→「えらしぐねやづだの」=「いやなやつだなあ」　**えんがこぐ** = ひどい目にあう　**おえる** = 生える

Inspire a Generation! ─世代を超えてつながろう！

第43回東京鶴翔同窓会　実行委員長
篠崎　実（昭和53年85回卒）

東京鶴翔同窓会に出席するようになったのは15年あまり前のことです。三十路の坂を越え、学を志して入った南高を卒業してからの年月が卒業以前と同じになった頃でした。それまでは、自分の選んだ世界でのことに必死で足が向きませんでした。それが、職場での責任が重くなりはじめて、立ったものの迷うことばかりで、同期がどのような人生を歩んでいるのか、また先輩たちはどのようにしてきたのか、ということに関心が向かうようになったのです。

ほぼ時を同じくしてぼくたち85回生は、今回の事務局長大泉君の音頭で、旧荘内館に集い、さまざまな分野の先輩、同期、後輩の講演会を開く経験交流の場「鶴翔塾」をはじめました。会をはじめるに当たって、「鶴翔」を名乗ることを許してくださったのは、中村信雄先輩でした。中村先輩は、それ以来ぼくたちの活動を温かく見守ってくださいました。暮れに、同窓会の準備を進めるなかで中村先輩の計報に接して、矢のごとき時の流れの早さを実感しました。

ひるがえって思うのは、東京鶴翔同窓会では、知命の声を聞いたぼくたちがいまなお若手扱いされていることの居心地の悪さです。そこで今回は、30半ば、さらには20代の後輩たちも、同窓会の輪に加わってもらおうと、ささやかな工夫をしてみました。今回のテーマを英訳すると、ロンドン五輪と同じInspire a Generation!（新しい世代に刺激を！）となります。これを合い言葉に、若い世代にまで輪を広げていきましょう！

合言葉は サンケイプラザ

第42回東京鶴翔同窓会　実行委員長
坂田　敬一（昭和42年74回卒）

昨年、第42回東京鶴翔同窓会がこれまでの赤坂・海運クラブから会場を大手町サンケイプラザ4階ホールへ移し、290余名の皆様に集まっていただきました。広い会場で気持ちも新たに、300インチのスクリーンを活用し、「こんな時だからこそ、まんず来ばえっちゃ　元気でっぞ！」のテーマのもと、参加された皆様全員が元気になって会場を後に家路につきました。余力のあった、130名余りは二次会場へ場所を移し、世代を超えた語らいや久しぶりの再会を懐かしがり、酒を酌み交わしながらテーブルごとに笑顔あふれる場を楽しんでいました。

今回のテーマ「つながろう！世代をこえて　おれも行ぐさげ　おめも来い！」と同じような言葉で、無理やり二次会場へ連れてこられた同窓生も、サンケイプラザでは面識がなかったはずが、何らかのつながりを見出し、庄内弁が飛び交う輪の中に溶け込んでいました。終わってみると、皆さんが絆を深め、校舎の新旧はあったとしても高校時代の話から、今の生活・趣味まで、旧知の友のように話した時間はあっという間に過ぎていました。

今年は幹事の多くが75回から85回の若い人たちへ引き継ぎがなされ、これまでにない様々なアイデアで楽しい会になりそうです。

是非、これまで同窓会に足を運ぶことのなかった皆さん、特に、南高を卒業して間もない大学生、20代30代のフレッシュな社会人の皆さん、会場に顔を出してみてください。そして、42回幹事で苦労した皆さんも友を連れてサンケイプラザに集合しましょう。

渋谷線・東京線〈2路線〉好評運行中!!
横3列独立シートで トイレ付き！ 学生証提示で20%オフ

高速バス 夕陽号
チケットのお申し込みは▶ 庄内交通
山形県鶴岡市錦町2-60 TEL.0235-22-2600
鶴岡 TEL.0235-24-7600
酒田 TEL.0234-24-7600

信頼の構築
石橋不動産 株式会社
代表取締役 石橋 政士 昭和45年（第77期）卒
〒997-0015 鶴岡市末広町13番1号
0120-81-5411
iSHIBASHi

南銀座 池田
iKeda
代表取締役 池田 督（85回）
〒997-0034 鶴岡市本町 2-2-27 TEL.0235-22-0116 FAX.0235-23-5876

創業 89 年の信頼と実績

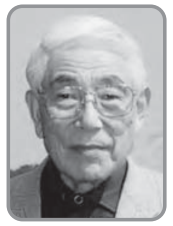
不動産のことなら何でもご相談ください！
■アパート / マンション / 貸家 ■テナント / 駐車場
■土地 / 分譲地 ■中古住宅 / マンション
■注文・規格住宅の新築 ■不動産コンサルティング
？こんなお悩みございませんか？
◎相続したけど使っていない土地・建物がある
◎今後のために土地や建物の価格を知っておきたい
阿部多不動産㈱
〒997-0028 鶴岡市山王町 9 番 35 号
TEL 0235-24-3151 FAX 0235-24-3153 URL http://www.abeta.co.jp
土日祝も営業！

MetLife Alico メットライフ アリコ
大泉 正（まさし）（85回）
日本ファイナンシャルプランナーズ協会会員 No.903235
スカウト担当
〒103-0023 中央区日本橋本町 1-1-1
MetLife 日本橋本町ビル 4 階
Tel：03-5203-5871 Fax：03-5202-9006

Grand el Sun　AQ·SUN
New Open！ チャペル＆神殿　見学・相談会随時開催
グランドエル・サン 結婚式・各種宴会・レストラン 山形県鶴岡市東原町17-7 TEL 0235-24-4633
アク・サン 鶴岡・余目・あつみ・本町 自宅葬・ホール葬・寺葬 【鶴岡】山形県鶴岡市伊勢原町9-22 0120-91-5002

おびっだが？ 庄内弁
おどげ = 下あご　**かしこぐ** = ハイカラぶる→「とうきょうさえたどて、かしこえで」=「東京へ行ったからといって、ハイカラぶって」
がっきつける = でこぼこにする→雪道が滑るときなどに「すべっさげ、がっきつけでおげの」=「滑るから、傷を付けてでこぼこにしておいてね」

人生八合目の青春



斎藤　進（昭和23年55回卒）

旧制中学最後の卒業生の私は今年満83歳を迎えます。近頃様々の会合に出席しても同期生に会うことがめっきり少なくなりました。私は幸い比較的健康な状態を保っており喜寿の年齢まで会社関連の仕事を続けることが出来ました。定年後も色々のところからの要請を受けて少しでも社会のお役に立てるならとボランティアの形で頑張っている次第です。

ノルマや規制に縛られた会社生活をふり返ってみると「人生は八合目からが面白い」という心境になります。現在担当している仕事を若干あげてみます。

①「やまがた特命大使」（吉村知事より拝命）として、ブランド米『つや姫』のPR及び観光・文化等の情報発信をあらゆる機会を捉え人脈も活用して推進しています。
②関西山形県人会副会長（会員300名）
③関西鶴翔同窓会顧問（昨年5月までの15年間は会長）

私は興味をひかれることには積極的にアプローチするのをモットーにしています。これは老化防止にも大変効果的なことと思います。いくつかの例をあげてみると、

❶絵画展への参加（油絵出品）
❷宮中歌会始への詠進歌応募（10年連続挑戦中）
❸ワイン会への出席（毎月1回）
❹クラシック音楽会（年数回、関西フィル後援会員として）

老齢期に入られた皆さんは今一度サミュエル・ウルマンの有名な詩『青春』を思い浮かべてみては如何でしょうか。皆様のご健康とご多幸を心からお祈り致します。

南高蹴球クラブ全国大会へ出場

五十嵐昌治（昭和33年65回卒）

昭和31年の暮、そろそろ正月休みに入ろうとするころ、生徒会の事務処理に忘れていることがないかチェック作業をしているところへ蹴球クラブ員が生徒会室に訪ねてきて「南高蹴球クラブが全国大会に出場することになった」と言ってきました。

我が南高蹴球クラブが全国大会に出場できるとは、こんなメデタイことはめったにあることではない。

ところが「選手の派遣予算が足りない。なんとかしてくれ」との申し出がありましたが、私自身そんな経験はまったくありませんでした。当年度の予算書を見ても予備費を全額回したところで要求金額には足りません。そこで学校事務方の延味先生と相談した結果、各クラブから協力金を集めることとし、理事みんなで各クラブに協力を求めて歩きました。

その甲斐があり、翌年32年1月の全国大会で南高蹴球クラブここにありとその勇姿を示すことが出来ました。

結果は三・四位決定戦で三位だった　でしょうか！

医療法人　楽生会
介護老人保健施設 きねぶち
〒306-0642 茨城県坂東市長谷 989-5
TEL.0297(47)3333 FAX.0297(47)3335
E-mail:inada@kine.jp

医療法人　楽生会
木根淵外科胃腸科病院
〒306-0632 茨城県坂東市辺田1430番地
TEL.0297-35-3131 FAX.0297-35-9792
http://kine.jp

医療法人社団　内科　胃腸科　小児科
佐藤医院
院長 佐藤 一夫（昭和40年）
〒134-0083 東京都江戸川区中葛西 1-4-16
TEL：03-3688-7460 FAX：03-3688-7419

医療法人社団
三浦産婦人科医院
院長 三浦 宏平（66回）
〒997-0024 山形県鶴岡市朝陽町 4-10
TEL.0235-22-0228 FAX.0235-25-9722
http://www6.con.ne.jp/~lcmiura1/
SINCE 1910

むかえだ歯科クリニック
迎田 洋（昭和63年卒）
［診療時間］平日 9:30〜12:30／14:30〜19:30
土曜 9:30〜12:30／14:30〜17:30
休診日 水・日・祝日
〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2丁目14-15 プリマ・クラッセ1F
TEL&FAX03-3670-1774

齋藤医院
院長 齋藤 慎（43年卒）
鶴岡市加茂字加茂 177 TEL 0235-33-3030

おびっだが？ 庄内弁
からがく = 結びつける、縛りつける→「わりごどすっど、はしらさからがぐぞ」=「悪いことをすると柱に縛り付けるぞ」　**げっぱ** = びり
けっちょ = 逆、裏返し　**けもす** = かきまわす→「ゆどごけもしてへれよ」=「お風呂の湯をかき回して入れよ」　**けんこ** = 貝　**このげ** = 眉毛

友を知る　故郷を知る

小川　眞（昭和43年75回卒）

私が庄内を鶴岡をそして同窓生達をより深く意識するきっかけとなったのは10年前の鶴翔会33回総会だった。私達75回生が実行委員の当番だった。高校卒業後も交流の続いていた菅野（旧姓大川）京子さんに誘われ、微力ながらお手伝いをさせていただいた。立ち上げの日、実行委員長　岡部氏の一人10人を集めるという至上命令を受け私は知人、兄弟、そして同窓会名簿を繰りながら、何十年振りの人達に電話をしまくった。懐かしい人達と電話で話し、そして当日参会して頂いた方たちには感謝。高校時代に私には見えてなかった個性が、それぞれに磨きがかけられ、新たな交流が始まり、興奮したのを覚えている。

時を同じくして作家、藤沢周平が脚光を浴び、そのときのイベントのひとつだった。藤沢周平が私たちの大先輩だったこと、また母の小学校の同級生の友人だったことなど縁を感じながら、藤沢周平のとりこになった。故郷の風景や生活を感じながら読むことは、人生の楽しみがひとつ増えたようで得をした気分だった。庄内人の「でしゃばらず、いざとなったらやるべきことはきちんとやるという侍気質」に故郷の人たちの顔を思い浮かべ納得。

あのときの鶴翔会との出会いがなければ、故郷を深く知ることもなく、いぶし銀のように輝いている友たちと出会うこともなかったのかと、また去年9年振りに参加が出来たのも10年前の参加があったから出来たのかなと思いつつ、また今年も誘ってみよう！「おれ行ぐさげ　おめも行ご！」と。

妻の待つお墓は鶴岡

阿部　正（昭和43年75回卒）

個人的なお話で申し訳ありません。私は第二の職場に転職して5年になった頃、そろそろ仕事を離れてのんびり過ごそうかと妻と話し合っていましたが、その妻を一昨年亡くしました。

その後は周りの皆さんにはいろいろと気を遣っていただき、飲み会、ゴルフなどに誘ってもらって大変恐縮している昨今です。ことに同じ経験をお持ちの野球部の先輩には何かと声をかけていただいて感謝の気持で一杯です。また野球部の仲間と高校の同級生は私が墓参りに帰省した際には飲み会でそれとなく励ましてくれます。

そんな皆さんが関わる鶴岡の良さと鶴岡南高出身であるという幸せをつくづく感じています。

私は出身を尋ねられると決まって山形の鶴岡ですと答えます。そのせいか最近は庄内、ことに鶴岡に関する問い合わせがかなり増えてきました。個人旅行で庄内に行きたいという大学時代の友人、仕事を通じた知人からよく相談を受けますが、代表的な場所以外に私がお勧めするのは決まって次の三か所です。

芭蕉に惹かれる人には羽黒山の南谷別院跡、藤沢周平が大好きな人には総穏寺、海外駐在員の経験者には黒いマリア像の鶴岡教会と、私が子供の頃から何度も足を運んだ場所をお話ししています。

鶴岡のPRをすることで自身の鶴岡との繋がりを意識するようにしていきたいと考えている今日この頃です。

わたなべ内科胃腸科
WATANABE CLINIC
院長 渡部 英一（昭和57年卒）
〒136-0074　東京都江東区東砂 7-19-13
ベルコモン南砂メディカルプラザ 1F
TEL：03-5617-1150　FAX：03-5617-1157

眼科 福原医院
院長 福原 晶子（83回）
〒997-0034　山形県鶴岡市本町 2 丁目 2-45
TEL.0235-22-7714　FAX.0235-24-3556

台湾式リフレクソロジー
院長 五十嵐 清助（75 回卒）
本場台湾の本格リフレクソロジーぜひ体験してください　http://www.jakuseki.net
〒216-0004　神奈川県川崎市宮前区鷺沼 3-3-1　伊藤ビル 301 号
TEL&FAX：03-3762-7546　Mobile：090-9100-1019
E-MAIL（PC）：seisuke-dadatya-r66@yahoo.co.jp

医療法人社団 聖愛会
中込眼科
〒104-0033　東京都中央区新川 2-22-4　新共立ビル 4F
TEL.03-5542-5267　FAX.03-5542-5268

有限会社 オカベ
代表取締役 岡部　実知子
〒116-0011　東京都荒川区西尾久 5-7-25
Tel. 03-3893-9876

マスターフットセラピスト・薬草研究家
（出張施術も致します）
櫻井 孝子（旧姓・今間／昭和36年定卒）
〒169-0073　東京都新宿区百人町 2-23-7
Tel. 03-3371-0336　Fax. 03-3371-0336
E-mail　sakurai-vava@w9.dion.ne.jp

おびっだが? 庄内弁
こしゃう = 作る　**ごしゃがえる** = 怒られる→「はやぐけねど、ごしゃがえる」=「早く帰らないと、怒られる」
しぇやみこぎ = 骨惜しみして何もやりたがらない人、寒がり　**じょんだ** = 上手だ→「おめだば じ じょんだの」=「あなたは字が上手ですね」

ふるさとと師と友への感謝

保多　由子（昭和44年76回卒）

ふるさとを離れて東京で生活し四十数年になります。

高校の制服を脱いで背伸びしたおかっぱ頭は、東京へ出れば新しいことやよりよいものに出会えると信じていました。確かに多くの人と出会いたくさんの物事を学ぶと、本物に触れたくてヨーロッパにも行ってみたくなりました。もっともっと…と外に伸びようとした若いエネルギーを思い出すと、懐かしくてちょっぴり気恥ずかしいような気持ちにもなります。誰もが時代の空気を吸って生きるのです。

家庭を持ち、子を育み、先達の老いや死にも直面し、そうこうしながらも専門の研究も細々と続けて、人生のさまざまな味を知ったと思える今、ほんとうに大事なものはそう多くはないということも分かるようになりました。そしてそれらのすべては鶴岡で過ごした少女時代の日々の中に在ったことにも気づかされるのです。

与謝野晶子は「歌はどうして作る」という詩の中で「真実はもっとも近くにある～この日の見るもの／この心の愛する前／我が両手の中に」とうたっています。

私が両手で抱く〝鶴岡〟と記された心の宝箱の中には、庄内の自然や文化への愛情や恩師、友人、先輩、後輩との絆が詰まっています。折にふれて大切な気づきをもたらしてくれるこの箱の蓋を、私はこれからもそっと開けて「有り難い」と頭を垂れるでしょう。

東京鶴翔同窓会、今年は感謝を胸に参加してみようと思っています。

東京鶴翔同窓会に寄せて

上野　嘉一（昭和53年85回卒）

約二十年前にシンガポールに二年間赴任していました。当時のシンガポールは高度成長の真最中で、日系企業の社員の方が「高度成長を二回経験できて幸せ者です」と言っていたのが今でも記憶に残っています。（現在では既にシンガポールの方が上ですが）当時の一人当たりＧＤＰはまだまだ日本の方が上でしたが、成長している国の勢いを肌で感じることができました。正月に一時帰国した時に、原色の景色で活気のあるシンガポールとモノトーンの景色で不況の日本とのコントラストに改めてびっくりしたことを覚えています。

最近では、高額の相続税を免れるためにシンガポールに移住する資産家の話がよくマスコミに出てきます。子供の教育、個人の味覚・嗜好が移住の障害になるという話を聞くのですが、その他に個人的に思うのは、四季がないことが日本人には辛くなるだろうということです。「あの人と会った時には桜が咲いていた」というような記憶の仕方ができず、生活に変化がないのです（常夏の地では常にブーゲンビリアが咲いています）。

日本とシンガポールという対比で自然環境のことを書きましたが、人生の三分の二を東京圏で過ごし、庄内弁も怪しくなってきた現在の自分自身を振り返っても、子供の頃に自分を育んだ庄内の味覚、自然環境が人生の選択に影響を与えていることを実感します。

国際化が叫ばれる昨今であるからこそ、庄内で産まれ育った自分を見つめる貴重な機会としての東京鶴翔同窓会を大切に思います。

株式会社 遠藤会計事務所
代表取締役所長
税理士　遠藤 研一（76回卒）
事務所 〒997-0042 山形県鶴岡市新形町21番20号
電　話 0235-22-2884（代表）FAX0235-24-3846

寒河江法律事務所
弁護士 寒河江 孝允（昭和38年卒　70回生）
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-1 尚友会館ビル2階
電話 03-3502-0882　FAX 03-3502-0880

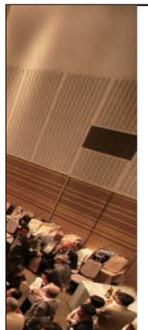
学校法人 井之頭学園
藤村女子中学・高等学校
校長 坂田　敬一（昭和42年74回卒）
〒180-8505　武蔵野市吉祥寺本町 2-16-3
TEL 0422(22)1266　FAX 0422(22)7680
JR・井の頭線　吉祥寺駅下車徒歩 5 分

村田敏法律事務所
弁護士 村田　敏（77 回）
〒160-0022　東京都新宿区新宿 1-5-4
YKBマイクガーデン802号（丸ノ内線・新宿御苑駅より徒歩2分）
TEL：03-3352-5941　FAX：03-3352-6049

クローバー学習教室
ひとり一人に合わせた丁寧な指導
指導対象…幼児・小学生・中学生
指導教科…算数・数学・国語・英語
指導者……岡部実知子
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 5-7-25　TEL03-3893-9876

九段法律事務所
弁護士
弁理士 五十嵐 康之（平成2年卒 97 回）
〒160-0022　東京都新宿区新宿２丁目１番７号
井門新宿御苑ビル２階
電話 03-5312-1025　FAX 03-5312-1184

おびっだが? 庄内弁
たがく、たなぐ = 持つ→「おほだぐで、たがげえねさげ、たがえでくれ」=「重くて持てないから持ってちょうだい」
たもつぐ = つかまる、しがみつく→「ながさえねよう、てさたもつげ」=「流されないように、手につかまりなさい」　**ちゃっちゃど** = 急いで



取材・文／伊藤健吾（103 回卒）
撮影／仁平則行（85 回卒）
昨年42 回会場写真提供／渡邊春信（83回）

どうすれば開く？「同窓会デビュー」の扉

「つながろう！ 世代をこえて　おれも行ぐさげ、おめも来い！」をテーマにかかげた今回の同窓会には、若い世代にもどしどし参加してほしい。そんな思いをこめて、在京の20代～30代の卒業生同士の座談会を開催。同窓会の輪を広げていくのに、必要なこととは!?

ゆる～くつながる“小さなイベント”が大事!?

「同窓会の存在は知ってる？」

「実家に会報が届くので、何となくは……」

「同窓会に興味は？」

「今回みたいに、きっかけをもらって先輩や後輩に会ってみると、懐かしのー！と思うけど、自分から行こうと思うきっかけがねぐて……」

今回、座談会に集まってもらった8人の話をまとめると、ざっとこんな感じになる。聞くと、高校を卒業して間もないころは、東京に来ている同級生同士で飲みに行ったりしていたそう。それがだんだん疎遠になり、働き出すとさらに会う機会が減ってきたというのが大方のところ。

同級生同士ですらそうなのに、さまざまな世代が集まる同窓会となると、腰が重くなるのは無理もないところだ。

その理由について、すでに家庭を持っている30代後半の卒業生は、こんな体験談を話す。

「20代のころは仕事に追われ、大学時代の仲間との付き合いもあるから、なかなか高校の同級生と会わなくなるんですよ。で、30代になるころには結婚する人が増えてきて、家庭を優先するようになる。さらに子どもができたりすると、友だちと会う余裕ってなくなっていきますよ」

20代の参加者からはこんな声も。

「働き出して間もないころは、時間もないしお金もないじゃないですか。だから、会費の高い同窓会には足が向かないままで……」

つまり、20代は仕事や経済的な都合、30代前後は家庭の都合で、「会いたくても会えない」状態となるようだ。

ならば、こういった各世代の事情を踏まえたうえで同窓会が開かれれば、若い参加者も増えるのではないか？ そう尋ねると、もう一つ、若い世代の参加をうながす鍵が見えてきた。

「長く鶴南に勤めた先生に会えるとか、同じ地区出身の卒業生同士で昔話ができるような会だと、参加したくなると思います」

また、年一回の同窓会に参加するきっかけが事前にもっとあれば、という意見も。

「庄内の人たちはちょっと受け身なところがあるから、年一度の同窓会のために積極的に同級生を集める人って少ないと思うんです。だから、例えば『庄内の芋煮を食べる会』みたいにゆるく集まれるイベントがいくつかあって、それぞれのイベントで知り合った同窓生同士がつながりを広げていく方が自然かなと」

「ゆるいつながり」というのがキーワードとなるかも知れない。今回彼らとつながりができて座談会に集まってもらうきっかけとなったのは、Facebook*。出身校やプロフィールでゆるくつながれるSNS（ソーシャルネットワークサービス）だ。

こう話した参加者がいた。

「Facebook ならさまざまなイベントの情報も発信しやすいし、同郷の人がやっていることにも興味を持ってもらいやすいと思います。気軽に接点が持てるのが良いですよね」

実際、30代半ばを過ぎると「卒業15周年」「卒業20周年」といった節目が増え、鶴岡で開かれた同窓会で知り合ったもの同士が「今度東京で会おうよ」となることもあるそうだ。

世代同士がゆるくつながり、それぞれの世代のなかでこうした小さなきっかけが積み重なれば、幅広い世代が同窓会に集まるかもしれない。

＊今年は Facebook ページも開設しました（下記）。

「いいね」の輪をひろげよう！

facebook.com/tokyokakusho

富樫一男さん
（平成 8 年 103 回卒）
建設業界勤務

丸山清志さん
（平成 4 年 99 回卒）
個人事業主

梅木恵介さん
（平成 4 年 99 回卒）
総合商社勤務

菅原 良さん
（昭和 63 年 95 回卒）
一般社団法人勤務

座談会に参加してくれた皆さん

俺ら&私らは、こげだ同窓会さ出でなやの～！

1 参加費は「5000円以内」で

特に 20 代で働き始めの時期は、1 万円近くするような飲み会や懇親会は敬遠してしまう。参加費が安いことは意外と大事。

2 「皆が知っている先生」に会える

「懐かしい」と思う先生方がどれだけ来ているかも、同窓会参加のきっかけに。先生との思い出は世代をこえて話題になるものだ。

3 同地区出身の先輩・後輩に会える

共通の話題づくりの一つとして、同じ出身地区や出身中学校の人たちと話ができることも喜ばれる。初参加の緊張もこれで和らぐ!?

4 懐かしい「庄内飯」がある

「食」は世代をこえたつながりを生むきっかけに。孟宗汁、芋煮、マスのあんか etc…。高校時代までに食べた地元料理の求心力は高い。

「今度の 43 回総会では、いろいろ用意して待ってっさげの！」

相澤寛子さん（旧姓：宗岡）
（平成 18 年 113 回卒）
官公庁勤務

滝口 玄さん
（平成 15 年 110 回卒）
地方銀行勤務

佐藤由久さん
（平成 15 年 110 回卒）
外資 IT 企業勤務

冨樫繁朋さん
（平成 9 年 104 回卒）
個人事業主

起死回生？ の4か条

初めて鶴翔同窓会に参加してみて

阿部　貴文（平成23年118回卒）

時間の流れは速いもので、鶴岡南高校を卒業してから二年が過ぎた。当時毎日のように行なっていて辛かった予習と復習、男子バスケ部で厳しくしごかれた日々も今となっては良い思い出である。現在私は親元を離れ、早稲田大学に通っている。入学してからの二年間は非常に充実しており、楽しいキャンパスライフを送ることができている。

東京鶴翔同窓会には昨年初めて参加した。きっかけは、今私が住んでいる駒込学生会館で、鶴翔同窓会の打ち合わせをしていた方から熱心に誘っていただいたことだった。実際に参加してみて、たくさんの人と出会えたことで人脈が広がったと実感している。会場では「何か困ったことがあれば気軽に連絡してね」と名刺を渡してくれる先輩もいて、とてもありがたかった。また、小学生のころ特別講師として算数を教えてくれた方に偶然再会し、当時を懐かしく思い浮かべて一緒に語り合うことも。確かに鶴翔同窓会は、世代を超えて人とつながることのできる貴重な場所であった。

昨年参加した東京鶴翔同窓会で最年少だった。本音を言うと若いのが自分くらいで不安であり、寂しかった。同窓会が終わったあと役員の方から、「次は君が声をかけてもっと多くの若者を連れてきてくれ！」と頼まれた。今年は昨年の同窓会の様子を同級生や後輩に伝えて多くの若い人達を誘っていきたい。「おれも行ぐさげ、おめも来い！」と。

学生こそ同窓会に参加を

佐藤　大介（平成10年105回卒）

鶴翔会館での卒業式から早いもので15年が過ぎた。国立大学前期試験の手応えもなく浪人生活を覚悟していた私は、3年間の高校生活の余韻に浸ることもできず漠然と卒業式を過ごしていた。

仕事で札幌に赴任してまもなく6年となるが、最近は家庭の事情で毎月のように帰省している。以前、首都圏とのアクセスの悪さから「陸の孤島」と呼ばれた庄内だが、直行便のない札幌からのアクセスに関して言えばいまでも「陸の孤島」は健在で、秋田空港を使えば強風で羽越本線が止まるし、仙台空港を使って高速バスに乗れば高速道路が事故で頻繁に通行止めになっているなど本当に苦労させられる。住んでいなくとも故郷の発展の重要性をしみじみ感じる瞬間である。

私は大学3年生のとき同期の年度幹事を務めていた本間梨江さんに誘われたことがきっかけで鶴翔同窓会に初参加した。当初は「東京にまで来て同窓会なんて」という思いもあったが、度重なる誘いに参加した次第である。普段、アルバイト先などでも社会人との関わりは持っていたが、会場では大勢の年輪を重ねた庄内出身者に自身の20年後、30年後を重ね合わせて見ていた。

世代によって上京した当時の時代背景は異なれど、東京で生活の礎を築かれた先輩たちは学生の私にとって、いつも接していた「大人」とは一味違った存在であった。様々なお話をお聞かせ頂き、大きな啓示となったことは言うまでもなく、学生こそ鶴翔同窓会にぜひ参加して欲しい。

鋼板、ステンレス、総合加工（切断、曲げ、切削、溶接）
株式会社 庄内シャーリング
代表取締役 池田　恭平（29年卒61回）
■本社・本社工場　〒999-7611　鶴岡市上藤島字上川原80番地
TEL 0235-64-3600　FAX 0235-64-3700

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ
（株）ブリヂストン 代表取締役COO 西海（にしがい） 和久（76回生）
NO.1 日本で一番選ばれている低燃費タイヤ
ECOPIA

— 必要な存在 — 鋼材の加工販売
株式会社 ミウラ トレーディング
代表取締役 三浦　幹夫（74回生・42年卒）
〒446-0005　愛知県安城市頭茶屋町南裏 68
TEL:0566-96-1855　FAX:0566-96-1861
E-mail m.miura@miuratrading.co.jp

株式会社 ホンマ電機
代表取締役 本間 俊三
〒228-0802　相模原市南区上鶴間 1-12-1
TEL:042-746-1616(代)
FAX:042-747-3463
ホンマ電機　検索
エコアクション21 認証・登録番号0008080

建設コンサルタント
測量事務所
一級建築士事務所
災害ボランティア加入
（被災宅地・建築物危険度判定）
株式会社 ウッド
本　社　〒364-0006 埼玉県北本市北本4-194-1
TEL:048-594-5001 FAX:048-594-5002

鉄で支える人間企業
http://www.itagaki-tk.co.jp
◆鉄骨工事／鋼構造物／建築一式
株式会社 板垣鉄工所
代表取締役 板垣 昌之（87回卒）
■東京支店／東京都港区虎ノ門 1 丁目 11 番 7 号
〒105-0001 第 2 文成ビル 5 F Tel.03-3509-7955　Fax.03-3509-7956
■本社／山形県東田川郡三川町大字神花字前外河原 476 番地 1
〒997-1315 天神堂工業団地内 Tel.0235-66-4711　Fax.0235-66-4716

おびっだが？庄内弁　**つまずる** = つまみ食いする→「はらへたどてつまずるな」=「お腹が減ったからといってつまみ食いするな」　**とぎ** = 魚の細かい骨
なっても = 必ず、絶対、どんなことがあっても　**なんまで** = 値打ち→「その帯なんまでだ」=「その帯はいくらですか」　**ねまる** = 座る

世代をこえて

小池　悟（昭和54年86回卒）

先日、O先輩より中村信雄さんの訃報をお聞きした。中村さんは私が以前勤めていた会社の大先輩であり、東京鶴翔同窓会を立ち上げた功労者でもあると聞いています。会社では雲の上の人だったのでほとんどお話することもなかったですが、十数年前よりこの同窓会に参加するようになって、お声を掛けていただくこともありました。ご冥福をお祈りいたします。

参加し始めた当時、同窓会では一年先輩（85回卒）の方々の参加が多く、とても楽しそうにされているのが印象的でした。その中心的存在がバレーボール部のO先輩でした。私自身も参加する回数が増えるにつれ楽しさも増してきています。十年に一度の幹事の年には実行委員長の下、二十年先輩の方々のお手伝いをしながら実行委員の一員として参加しました。同期も十名ほど参加して盛り上がったこと、その時の達成感を思い出します。最近、出張等で参加する機会が減ってしまったことは残念ですが、昨年参加した際には後輩の参加者が増えていて驚きました。元気な先輩、後輩と一緒にいるだけでエネルギーが補充できた気分になり、何か元気になります。たまには同窓会では同期とのつながりはもとより多くの先輩、後輩の方々といろんな話をしながら盛り上がり楽しみましょう。会場では鶴岡に帰った時と同じようにすぐに言葉が戻り同時に高校時代に戻ったような気分をあじわえると思います。

冨樫版『おしん』にご期待を！

冨樫　森（昭和53年85回卒）

六月完成、一〇月公開に向けて『おしん』を作っています。制作会社から依頼を受けたものですが、七歳のおしんを描く映画ということで、「小児科」のオレとしては願ってもない企画です。

おしん役はすでに八歳の女の子に決定しており、現在都内で一緒に稽古をしています。二、五〇〇名の応募者から、子役としての演技経験がない、野生児のような魅力をもった子を選びました。彼女には、映画の撮影というはじめての試練をとおして、おしんさながらの強さを身につけてくれることを期待しています。

原作の朝ドラは国内外で反響の大きかった作品であるだけに、すでに東映系二五〇館と海外での公開が決まっています。小林綾子のイメージが強く、多くの人の心に焼きついたシーンもあり、庄内映画村で自由にとった『傷跡』（二〇一一年）、『夏がはじまる』（近日公開）とは違い、そうした名シーンをどういうかたちで自分の映画表現として結実させるか、ということが大きな課題です。

冨樫版『おしん』は庄内を感じさせる映画にしようと思います。おしんの村山弁と奉公先の人たちの庄内弁の違いや、思いを胸に秘めるたおやかな庄内人気質など、同郷者ならわかるような味をきかせようと思っています。ぜひ映画館にお出かけください。

東京鶴翔同窓会が盛会となりますよう心よりお祈りしています。

がんばれ 冨樫　森 監督（85回生）

映画「おしん」の成功を祈る
鯉川酒造株式会社
山形県東田川郡庄内町余目字興野42

TURUOKA 地域未来創造企業
鶴岡建設 株式会社
代表取締役社長 本間敏英（69回卒）
本　社■山形県鶴岡市泉町5番41号
TEL.0235-22-4511(代)　FAX.0235-24-3240

株式会社 スタジオ・オクト
代表取締役 野　間　耕　治（昭和46年）
東京都渋谷区代々木 3-2-7-402
TEL 03-5351-9201　FAX 03-5351-9205
E-mail oct@st-oct.com

SIGN EVENT VISUAL
COMS 株式会社コムズ
東京都中央区京橋3-12-1 エコー京橋ビル
Phone 03-3562-5201 Fax 03-3562-5207 itagaki@coms.co.jp（66回卒）

オリジナル制作、アーティストとのコラボレート制作等、フレキシブルにプロフェッショナルに広告音楽制作を行います。
広告音楽制作会社
REZACK music
代表取締役
有森 和道（85回卒）
〒153-0043 目黒区東山 1-11-15
中目黒 ARK2-501
tel.5773-1711 fax.5773-1712
http://www.rezack.net/

green technology
株式会社 ニチノー緑化
荒川営業所 所　長 岡　部　次　樹（75 回卒）
〒116-0011 東京都荒川区西尾久 5 丁目 7 番 25 号　TEL(03) 3809-8300
本社／〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 14 番 4 号　岡谷ビル 6F
TEL (03) 3808-2281　FAX (03) 3808-2360

おびっだが？庄内弁　**ばえる** = おんぶされる→「あどあるがいね、ばえる」=「もう歩けない、おんぶして」　**ばんけ** = ふきのとう　**びっき** = カエル
ひとがだげ = 一食分→「いっぺつぐたさげ、ひとがだげもていげ」=「沢山作ったから、少し持ってかえって」　**べっと** = 蛾

つながろう！ 世代をこえて おれも行ぐさげ、おめも来い！

五十嵐　透（昭和53年85回卒）

ひさびさに同期の大泉から電話が来たのは昨夜のこと。

でも「おれも行ぐ」とはいってもどこに？

創立百二十余年を数える県内屈指の進学校、文武両道、質実剛健…今も週に四、五回は足を運ぶ母校はよくそんな言葉で語られる。

でも…とふと思う。在学中は決して文武両道・質実剛健ではなかった連中が多かった気がする。目立ちたがり屋で、人に議論吹っかけまくって、女の子のことばっかり気にして。お祭り好きで体育祭や南高祭を指折り数えて楽しみにしてて、球技大会の練習への熱気は部活なみ（以上？）。

それに先生なんかちょっと年上の友人くらいの感覚で会話して、議論して。そんな高校生を先生方も決して押さえつけるわけでもなくアタタカク見守ってくれていたもんだった…。

最近の高校生に、南高生にそういった余裕（？）は見られない、気がする。最近のワカイモンは…の決まり文句はエジプトの古文書にもみられたフレーズだそうだが実際のところ、やはり何か違う。

同窓会も若年層の参加が少ない、と言われて久しい。われらが八十五期も中堅年代として、先輩がたとワカイモンの架け橋となるべきかと思う。いつも大泉におんぶにだっこじゃ申し訳ない、もう少し母校のために貢献したいもんだ…なぁ！　大泉。

中村信雄様、やすらかに。

東京鶴翔同窓会 元事務局長 **地主忠夫**（昭和38年70回卒）

初代事務局長中村信雄様

東京鶴翔同窓会発足から30年の長きにわたり同窓会を支え、今日の隆盛の礎を築かれ、28回総会の場で退任を表明されたのちも会を温かい目で見守って下さり、ありがとうございます。ゆっくりとお休みください。

中村さんとの最初の出会いは、荘銀東京支店二階での会報発送等をお手伝いさせていただくようになって2年目の昭和50年のことでした。二代目会長となったばかりの佐藤寒山さんを囲む懇談のおり、大先輩の新会長にたいして中村さんが「東京鶴翔同窓会活動はいかにあるべきか」との問いを発され、「年に一度一堂に会し、酒を酌み交わし語りあう。目的は是のみ」との答えを引きだしました。寒山会長が現行の副会長5人制を発議されたのもこのときです（桜井元会長もそのひとりとなりました）。その後、総会の準備等での中村さんの采配振りには畏敬の念を感じるばかりでした。のちにご自身から後任の事務局長をと打診されたのは思いも寄らぬことでした。

卒業回下一桁が同じ学年の実行委員会による総会の企画運営は、第9回総会で中村さんが発議されたものです。34年がたちますが、10年、20年離れた世代間の交流や連帯が深まり、運営もさまになり、出席者も３００名に達する勢いです。

中村さんと歴代会長が一番腐心されたのは、次期会長の人選だったと拝察します。28回総会での井会長選出の際も、根回しを重ね「なりたい人よりもなってほしい人に」の不文律を貫かれました。

退任後は、求めれば助言をくださいましたが、桜井会長と私との迷コンビ（？）を温かく見守ってくださるのがつねでした。

合掌。

心に語りかけるヴァイオリニスト、超絶技巧のテクニック♪　日本工業倶楽部で毎月１回「夢のトークコンサート」開催中♬　是非お越し下さいませ。

中村ゆかり〈中村信雄(51回)の娘〉

事務局：中村ゆかり後援会
会長／菊池安行（55回）　事務局長／本間敬士（68回）
〒302-0024　取手市新町 3-4-5
TEL＆FAX：0297-73-0364

故郷のニュースは庄内唯一の日刊郷土紙「荘内日報」で

『荘内日報』を郵送いたします！ カラーになってさらに見やすく

◆帯封（毎日郵送）購読料1カ月2,000円＋郵送料1,040円
◆メール便（1週間分まとめて送付）購読料1カ月2,000円＋送料1回80円（1カ月320～400円）

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-29 TEL.0235-22-1480
FAX.0235-22-2633　http://www.shonai-nippo.co.jp/

聞いて面白い朗読を目指して

6/16（日）博品館 11 時より【朗読の日】「転生」志賀直哉作
11/16（土）カメリアホール 14 時より「悪女について」有吉佐和子作

朗読・ナレーション・司会
松島　邦（69回卒）

〒140-0011　品川区東大井 2-13-10-309
連絡先：090-4666-2669　FAX：03-3762-7546

豊かな居住環境の創造を担う専門出版社
（おかげさまで創業80周年）
株式会社 彰 国 社
代表取締役会長 後藤　武（65 回生）
東京都新宿区富久町 8 - 21　電話 03-3359-3231
〒162-0067　http://www.shokokusha.co.jp

語部集団 **木偶坊**
代表 **菅原　司**（昭和38 年 70回卒）

〒178-0065 東京都練馬区西大泉 1-15-8-401
Tel & Fax. 03-3978-4311

祝 第43回 東京鶴翔同窓会

出版・編集・DTP・校閲校正
株式会社アドリブ
代表取締役 伊藤　豊（77回）

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目11番9号
TEL 03-3511-6055（代）FAX 03-3511-6056
URL：www.ad-lib.co.jp　E-mail：ito@ad-lib.co.jp

おびっだが？庄内弁　ほんこ＝本気、本番→「さっきなはうそっこ、今度だばほんこだぞ」＝「さっきのはうそ、今度は本気だぞ」　まなぐ＝目
まがす＝こぼす、ひっくり返す→「おづげ、まがすなよ」＝「味噌汁をこぼすんじゃないよ」　みじょけね＝かわいそう

距離を超えて（昭和63年95回卒）

今年のテーマは「つながろう！ 世代をこえて おれも行ぐさげ おめも来い！」ということで、鶴岡と東京地方との距離を超えて、わっげふりして（笑）いま流行り（でもないか?）のfacebookでもつながっている95回卒業生は、同窓会、そして鶴岡の発展を期して寄書きを募り、同期生の今を「寄せ写真」にしたので、ご笑覧ください。

まずは5組の田中宏さん。

『家中新町で生まれ育ち、朝暘三小→鶴岡四中→鶴南。高校は通学至便でした。30歳で娘を授かり、鶴岡で子育てするために帰郷。合唱指導など音楽の仕事をしているうちに、まちづくりに関心を抱き、鶴岡市議も務めています。現在の文化会館は今年いっぱいで取り壊し、世界的な建築家の設計でリニューアル。音楽人として市議として、市民に親しまれる文化創造・発信の拠点を作っていく所存です！皆さんのご意見、聞かせてのー♪』

鶴岡を盛り上げる一人として活躍を期待してます！

続いて2組女子さん。恥ずがしがりやさんだのー。

『社会人になってから10年程東京にて働いていました。その時分は、大都会で生活していることがうれしくて、鶴岡を恋しいと思うことはありませんでした。その後、Uターンし、地元にて働いておりますが、時を重ねるにつれ、鶴岡に戻ってきて本当に良かったと感じています。あの時には気が付かなかった風景、食べ物、そして鶴岡人の心。いつまでも都会にはならず、田舎であって欲しいと願っています』

鶴岡のいいコト、いっぱい発信して下さい！

そして4組の渡部直人さん。

『一浪の末、私大の医学部に進学し、親のすねをかじり倒して卒業。その後大学病院、及び東京近郊の病院に計14年間勤務。浪人生、大学生、社会人として約21年間を東京で過ごしたのち、帰巣本能か、はたまた望郷の念に駆られたためか齢40になるのを機に妻子ともども帰郷し、現在荘内病院に勤務しております。地方の医師不足は予想以上に深刻でした。忙しい毎日ですが体調を崩さぬよう、息抜きしながらなんとかかんとかやっております』

これがらお世話なるごども多いがの（笑）。

最後は5組の菅原良です。

『生まれも育ちも斎の勝福寺。市内だなさ体育ではなっても郡部チームだっけ。雨の日も吹雪の日も道路がつろつろでゆぅ日も自転車で通った3年間。たしか皆勤賞もらったっけの。鶴岡離れて早や四半世紀、赤川でカブトしめや鮎突きしながら育ったなが忘らいねぐで、海の近ぐさ住みながら都内勤務。秋には海で芋煮会開催してるので、ぜひ来て下さい！「自然から得たものは自然に還す」をポリシーにバイオマス（生ごみや間伐材など）に関する仕事に携わり、鶴岡にも豊富なバイオマス活用のお手伝いができればと思っています。「金の切れ目は縁の切れ目」なんて申しますが「まんず酒呑め」は縁のはじまり、ということで、神田の庄内料理屋「このじょ」での先輩との出逢いが縁で実行委員させでもらってます。鶴翔同窓会ってゆうど何だがこちょっとよんだども、まんず集まって呑もぜ！』

みんなありがどのー。

日本一のブルーベリー園羽黒に誕生
月山高原
鈴木ブルーベリー農園
月山の恵みをいっぱいいただき 9千本ものブルーベリー達を元気に育んでおります。是非一度御越し下さいませ。
羽黒町上野新田字上台80　TEL&FAX0235-62-4042　www.suzukihaguro.com

月山高原 鈴木農園
ブルーベリー園

出羽庄内地域文化情報誌…[クレードル]
Cradle　あなたの庄内便
隔月３万部発行　サポーター募集中！　庄内クレードル　検索
（株）出羽庄内地域デザイン（フリーアクセス電話：0800-800-0806）

新鮮な安心野菜
切り花
サクランボ
だだ茶豆
メロン
庄内柿
和なし、洋梨
特産物など…
百万石の里 農産物直売所 しゃきっと
里の旬、お届けいたします。
鶴岡市覚岸寺字水上 196-1
Tel.0235-29-9963　Fax.0235-29-9964
http://www.shakit.jp/

JA鶴岡　ネットショップ
だだぱら
DADACHA PARADISE
だだちゃ豆、メロンをはじめ、鶴岡の旬の美味しさを全国にお届けします!!
だだぱら　検索

おびっだが？庄内弁　むぐす＝もらす→「しょんべむぐした」＝「小便もらした」　めんだり＝まえかけ、エプロン　やっこい＝柔らかい
よごちゃま＝横になっている状態→「そごさよごちゃまになってど、邪魔だ」＝「そこに横になっていると、邪魔だ」　よべな＝昨夜

東京鶴翔同窓会・幹事名簿

平成25年3月13日

会　長	菅　　徹（37年69回）	〃	成田　辰美(20年53回)	〃	櫻井　孝子(36年定32回)	〃	井ノ口明子（48年80回）
常任幹事	大澤　弘之(29年61回)	〃	佐藤　良三(21年54回)	〃	工藤　雅子(37年69回)	〃	渡部　幹　（48年80回）
〃	安野　正紀(34年66回)	〃	渡部　敏雄(21年54回)	〃	尾形　文子(38年70回)	〃	王　　金城(49年81回)
〃	荘司　保治(36年68回)	〃	丸谷　錦吾(25年57回)	〃	芳賀　俊郎(38年70回)	〃	石川　康博(49年81回)
〃	相馬　省記(39年71回)	〃	窪田　騰　(26年58回)	〃	相馬　省記(39年71回)	〃	鈴木　亮　(49年81回)
〃	小鷹　光雄(40年72回)	〃	佐藤　成生(27年59回)	〃	佐藤　祐一(39年71回)	〃	林　　みき(50年82回)
〃	栗本　浩　(41年73回)	〃	茂木　勲　(28年60回)	〃	山田　悟　(39年71回)	〃	今野　りつ(50年82回)
〃	坂田　敬一(42年74回)	〃	早坂　勉　(28年60回)	〃	齋藤　豊三(40年72回)	〃	江部　信夫(51年83回)
〃	岡部　次樹(43年75回)	〃	大澤　弘之(29年61回)	〃	小鷹　光雄(40年72回)	〃	仁平　則行(53年85回)
〃	梅津　準士(45年77回)	〃	相馬　和彦(29年61回)	〃	兼子　久　(40年72回)	〃	河野　晃　(53年85回)
〃	杉山　恵子(45年77回)	〃	奥田　文夫(30年62回)	〃	髙嶋　勝平(41年73回)	〃	小池　悟　(54年86回)
〃	大泉　正　(53年85回)	〃	髙橋　徹　(30年62回)	〃	平山　静夫(41年73回)	〃	石川　透　(55年87回)
顧　問	佐藤　成生(27年59回)	〃	鎌田　喜子(31年63回)	〃	坂田　敬一(42年74回)	〃	小池　一史(55年87回)
〃	渡部　洋　(36年68回)	〃	平田　宏　(31年63回)	〃	青島　時子(42年74回)	〃	遠藤　高志(56年88回)
〃	太田　良弘(38年70回)	〃	渡部　賢一(32年64回)	〃	岡部　次樹(43年75回)	〃	山村　文雄(56年88回)
会務監査役	村田　敏　(45年77回)	〃	加藤　有紘(33年65回)	〃	菅野　京子(43年75回)	〃	関口　太郎(57年89回)
〃	秋場　守　(53年85回)	〃	大川　政紀(34年66回)	〃	梅津　千里(43年75回)	〃	百瀬　義徳(57年89回)
事務局長	小林　啓二(38年70回)	〃	板垣　正明(34年66回)	〃	星野　茂　(44年76回)	〃	岡本　あい(57年89回)
事務局次長	長江　和子(38年70回)	〃	安野　正紀(34年66回)	〃	伊藤　豊　(45年77回)	〃	渡部　英一(57年89回)
幹　事	渡会　春雄(15年48回)	〃	坂本　紀夫(35年67回)	〃	菅原　誠二(45年77回)	〃	大高和加子(58年90回)
〃	斎藤　弘義(17年50回)	〃	斉藤　敬治(35年67回)	〃	小林　桂子(46年78回)	〃	長沢　重喜(58年90回)
〃	青柳　恵一(18年51回)	〃	本間　敬士(36年68回)	〃	野間　耕治(46年78回)	〃	村山　聡　(H1年96回)
〃	菅原　隆輔(19年52回)	〃	佐藤清四郎(36年68回)	〃	川畑　一郎(47年79回)		

編集後記

早々と開花した桜のもと、人事異動や送別会がつづく年度末の慌ただしさのなかで会報原稿の締切を迎えました。皆様のご協力と頑張りで校了までなんとかたどりつけそうです。

今年は「つながろう！　世代をこえて」をテーマにして、フレッシュな世代も参加できる同窓会をめざしています。会報でも、若い人たちの座談会を開いて特集記事を企画してみました。世代間の出会いの輪を広げていければ、と考えています。みなさんも、身のまわりにいるお友達、先輩、後輩に、声をかけていただけませんか！

「おれも行ぐさげ、おめも来い！」
六月十五日、サンケイプラザで
お会いしましょう！

（会報部会長・仁平則行）

第43回 東京鶴翔同窓会実行委員会

実行委員長	篠崎　実　(53年85回)	会場部会	
副実行委員長	加藤　有紘(33年65回)	部会長	小池　一則(53年85回)
	菅野　京子(43年75回)		梅津　千里(43年75回)
	河野　晃　(53年85回)		(兼)菅野　京子(43年75回)
会報部会			五十嵐清助(43年75回)
部会長	仁平　則行(53年85回)		坂本　妙子(43年75回)
	(兼)河野　晃　(53年85回)		中島　恵子(43年75回)
	中込真知子(53年85回)		丸田　孝明(43年75回)
	菅原　良　(63年95回)		齋藤　智　(53年85回)
広告部会			(兼)大泉　正　(53年85回)
部会長	岡部　次樹(43年75回)	事務局	
	(兼)加藤　有紘(33年65回)	事務局長	大泉　正　(53年85回)
	(兼)大泉　正　(53年85回)	事務局次長 (兼)会計	秋場　守　(53年85回)

㊗第43回 東京鶴翔同窓会総会
同期生の諸君！
ふるって ご出席下さい!!
65回卒・有志一同

庄内ふるさと会
山形県内唯一の抜群の団結
加盟16団体 庄内は一つ
会長 熊谷 直治

おれも行ぐさげおめも来い！
㊗第43回 東京鶴翔同窓会総会
みんな 集まろう!!
75回有志一同

祝　第43回東京鶴翔同窓会
第75回（昭和43年卒）3年4組
有志一同

昭和53年卒（85回）のみんな！　待ってっぞ!!
サンケイプラザさ
おれも行ぐさげおめも来い！
85回有志一同

鶴翔塾　会報『South Wing 南神』
第22回 鶴翔塾は、10月開催予定!!
乞うご期待!!
塾頭・篠崎 実(85回)　事務局・大泉 正(85回)
お問い合わせ／090-3816-3367（大泉まで）
※鶴翔塾は、皆様のご寄付により運営されています。

[15]

おびっだが？庄内弁　**わりわり**ど＝むりやりに→「満員電車さ、わりわりどへてきての」＝「満員電車に、むりやり入ってきてね」

※以上、なつかしの庄内弁は太田良弘さん（70回）のホームページ庄内語辞典より。http://www.myshonai.com/index.html

同好会会員募集中！

『鶴友会ゴルフ』

鶴翔同窓会会員がゴルフを通じて親睦を深めるための会です。現在、会員数は80名（菅徹東京鶴翔同窓会会長が鶴友会会長を兼務、第6代）で、年間2回のペースで開催しています。今年の4月で40周年80回を迎えるこの会は、同級生枠・友人枠・知人枠のご要望にもお応えしながら、とにかく楽しいゴルフ親睦会を目指しています。
春は、鶴翔の単独開催、秋は鶴工OB会・庄内出身者を巻き込んで「鶴栄会（鶴岡が栄える会）」と称して、年々参加者も増え続けています。皆様、是非とも、友人・知人・先輩・後輩をお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。
【問】090-3816-3367
事務局・大泉（85回）まで。

『鶴翔塾』

1997年に創設。生涯学習と相互交流を目的とし、多士済々の講師をお迎えして、これまで21回開催してきました。鶴翔塾は、「講演会も良いが、懇親会で郷土料理が食べられて地元のお酒が飲めるのが良い！」と言う方もいらっしゃいます。この際、どちらも大歓迎です。とにかく「飲むだけでは…。」という方でも「うめ物、飲んで食って幸せ！」という方も皆さんお待ちしております。通常5月の開催でしたが、今年は、東京鶴翔同窓会の幹事年度で、10月の開催にしました。皆様、お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようお願い致します。
【問】090-3816-3367
事務局・大泉（85回）まで。

『庄内うたう会』

この会は、同窓生と家族や友人が、老若男女・上手下手など関係なく、庄内弁も飛び交う温かい雰囲気の中で心から音楽（音を楽しむ）しています。毎回、鶴岡から上京する田中宏先生（95回）は、ご自身のピアノ伴奏で、どんなジャンルも解りやすく、そして爽やかに指導してくれます。私にとって、うたう会と同窓会の楽しさは同じ大きさ、ふるさとの香りが恋しくなったら、月2千円の会費で「まんずこばえっちゃ、元気でっぞ!!!」一緒に故郷を語り、青春にかえり、声と心を合わせて身も心もリフレッシュして楽しみましょう。
【問】03-3488-6435 宮本まで
【記：木戸（74回）】

あなたも仲間を募って活動しませんか？
同好会募集　鶴南OBが中心となって活動する同好会を東京鶴翔同窓会が応援します。
※詳しくは、東京鶴翔同窓会事務局長の小林（TEL.045-922-913）まで。

大手町 サンケイプラザ
もっとひとりひとりのなかへ。　株式会社 サンケイビル
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 tel.03-3273-2258 fax.03-3273-2258
http:www.s-plaza.com

板蕎麦　炭火焼料理
大松屋
大松屋本店　TEL. 03（3571）7053
大松屋蔵店　TEL. 03（3574）4200
酒田生石 大松家　TEL. 0234（94）2617

こに来れば
のんでよし。食べてよし。
じょうれんさんも、はじめてさんも
ようきに楽しく、美味しい時間
隠れ家のような我が家。
山形・庄内 季節創作料理 このじょ
千代田区内神田 3-5-5　大同ビル1階　TEL＆FAX：03-3254-7358

大衆酒蔵
やまがた
渋谷区道玄坂1-6-5　TEL 3464-8989

東京尾浦会
尾浦とは400年前、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた武藤氏の築いた「尾浦城」にちなんだ大山の旧称です。
会　長　加藤　眞（昭12年卒）
事務局　〒155-0031 東京都世田谷区北沢5-15-12 加藤 有紘方
TEL&FAX　03（3468）0785

全国総本部 NO方式加盟店
養老乃瀧
駒込駅前店　北区中里2-1-2
☎03-3917-7272
大小御宴会承ります。35名様迄。
※ご予約・お申し込みはお電話で。
安心の養老の瀧グループ NO方式加盟店募集中！　http://www.yoronotaki.co.jp

第43回　東京鶴翔同窓会おめでとうございます
山形県の目 三川町
望郷みかわ会　会長
庄内ふるさと会　副会長
山形県人東京連合会　常任理事
佐藤 征洋（昭和37年69回卒）
〒253-0054 茅ヶ崎市東海岸南5-2-30 tel/fax：0467-86-1934

日本料理 諸菜匠 創業平成元年
■営業時間／昼11:30～2:00 夜5:00～22:00（ラストオーダー）
定休日／基本的に日曜日　貸し切り営業しております。
東京都渋谷区幡ヶ谷1の3の1　ゴールデンセンターB1F
・テーブル席20名　座敷14名（一部堀ごたつ）カウンター3名
工藤公士　甲州屋本家調理師会副会長 社団法人日本料理研究会師範
料理、ご予算等なんでもご相談下さい。
TEL・FAX（03）3374-3751

祝　第43回東京鶴翔同窓会総会
東京羽黒会
会長 大江鐵夫 役員一同
事務局／〒144-0055東京都大田区仲六郷1-6-9-415 Tel・Fax／030-3732-8688

素材屋 さかなごはん
素材屋のこだわり料理
◆炭火串焼き
◆手付け串カツ
◆手作り惣菜
素材屋 大手町ビル店
〒103-0025
東京都大手町一丁目6番1号
TEL 03-5224-3201
FAX 03-5224-3202

[14]

おびっだが？庄内弁　**よぐたがり**＝欲張り　**よばえる**＝ごちそうになる→「ちょっとばし、よばえっがの」＝「少しばかり、ご馳走になろうかな」

わつわつ＝しゃにむに→「わつわつど、け」＝「しゃかりきになって、食べなさい」

第42回 東京鶴翔同窓会総会 出席者名簿

平成24年6月16日(土) 大手町サンケイプラザ

ご 来 賓

鶴岡市市長代理 東京事務所
鈴木　泰行 様

首都圏鶴岡会 理事
奥山　博 様

如松同窓会 東京支部 常任幹事
藤木　道子 様

東京紫紺同窓会 事務局長
齋藤　常夫 様

鶴岡南高等学校 教頭
門田　正彦 様

城畔同窓会 関東総支部 支部長
小林　武 様

黎明同窓会 関東支部 副支部長
尾崎　光子 様

東京亀城会 会長
相川　俊明 様
東京亀城会 副会長
元木　徹 様

鶴岡南高等学校同窓会 会長
石黒　慶一 様

城畔同窓会 関東総支部 副支長
阿部　順二 様

黎明同窓会 関東支部 副支部長
黒沢　朝恵 様

山形鶴翔同窓会 会長
加賀山　隆士 様

如松同窓会 東京支部 支部長
福田　美恵 様

東京紫紺同窓会 会長
佐藤　修三 様

ご 招 待

庄内イイナ会
鶴田　洋子 様

庄内日報 東京支局
足達　哲郎 様

藤村女子中学・高等学校
坂田　敬一 様

香取神社
小林　桂子 様

榎本公認会計士事務所
榎本　堯 様

㈱鶴岡自動車学園
齋藤　征士 様

(株)レッドアンドイエロー
井上　茂 様

(株)出羽庄内地域デザイン
小林　好雄 様

東京尾浦会
加藤　有紘 様

(株)フレッシュシックスオー
齋藤　輝峰 様

村田敏法律事務所
村田　敏 様

鶴翔塾
篠崎　実 様

ギタリスト
片桐　幸男

(株)コムズ
板垣　正明 様

(株)ミウラトレーディング
三浦　幹夫 様

(株)アドリブ
伊藤　豊 様

メットライフアリコ
大泉　正 様

ボーカリト
明光院正人

むかえだ歯科クリニック
迎田　洋 様

(株)スタジオ・オクト
野間　耕治 様

竹の露合資会社
相沢　政男 様

ドラマー
阿野　次男

一般参加者

昭和12年卒（45回）
加藤　眞
昭和15年卒（48回）
宮﨑　富哉
渡会　春雄
昭和18年卒（51回）
青柳　恵一
渡部　士郎
昭和19年卒（52回）
土岐　良次
野沢　秀二
吉澤　四郎
昭和20年卒（53回）
遠藤　一二
尾形　昌夫
寒河江辰巳
斉藤　昌雄
皆川　健行
昭和21年卒（54回）
佐藤　良三
富樫　泰教
昭和23年卒（55回）
宗片　光一
昭和24年卒（56回）
植木　清哉
菊池　安行
昭和25年卒（57回）
鈴木　雄三
丸谷　錦吾
昭和26年卒（58回）
板垣　清
川島　協
窪田　騰
地主　幸右
早川　恒子
本間　章介
匹田　誠
増田　幸子
昭和27年卒（59回）
石井　忍
池田　輝之
石橋　幹雄
桑原　貫次
小山由美子
斎藤　優三
佐藤　成生

中村　順一
昭和28年卒（60回）
小杉　信
佐久間美津雄
前橋　秀
茂木　勲
昭和29年卒（61回）
五十嵐豊雄
大瀬　振
大澤　弘之
落合　良
佐藤　正吾
相馬　和彦
菊地　晴
権藤　泰浩
山中　昊吉
昭和30年卒（62回）
五十嵐隆二
大川　重一
奥田　文夫
佐藤　新市
佐藤　亮介
高橋　進
高橋　徹
昭和31年卒（63回）
榎本　堯
大滝　恒雄
岡田　恒祐
鎌田　喜子
諏訪　浩
諏訪百美子
外池　連子
富樫　稔
畑田　治範
平田　宏
本間　克彦
昭和32年卒（64回）
榎本　克弘
大井　浩司
小花　吉彦
佐藤　隆三
鈴木　忠昭
友澤萬里子
中村　愃
永澤萬里野
難波　茂丸

宮本　慶子
渡部　賢一
昭和33年卒（65回）
阿部　文治
板倉　利
小松原隆治
齋藤　正幸
佐藤　安行
澤井　俊弥
加藤　有紘
平田　惇
本間　義信
渡部　明
昭和34年卒（66回）
足達　哲郎
板垣　正明
梅木　実
大川　政紀
粕谷　英樹
佐藤　紘一
佐藤　誠
安野　正紀
中嶋　茂
昭和35年卒（67回）
大沼　順耳
齋藤　敬治
坂本　紀夫
昭和36年卒（68回）
池田　孝次
太田　久
亀井　篤
冠木　敦子
佐藤　勉
櫻井　孝子
陶山　宏
荘司　保治
本間　敬士
渡部　洋
冨樫　惇
昭和37年卒（69回）
安倍　良男
犬塚　吉士
岡田　睦
工藤　雅子
齋藤耕一郎
齋藤　征士

斎藤　誠
佐藤　和敏
佐藤　志郎
菅原　健
菅　徹
高橋トヨセ
武田　二郎
林　広弥
星野　武紘
松島　邦
三浦　勝
森田　良治
昭和38年卒（70回）
秋場　有弥
五十嵐房夫
板垣　健輔
太田　良弘
尾形　文子
上林　治
小林　啓二
斉藤　淑人
佐藤　高志
志賀　嘉美
庄司　誠
冨樫　次男
地主　忠夫
土岐　寛
土井征一郎
中西　一角
長江　和子
芳賀　俊郎
福原　正和
百瀬恵美子
昭和39年卒（71回）
五十嵐耕三
佐藤　祐一
菅原　克己
相馬　省記
昭和40年卒（72回）
兼子　久
小鷹　光雄
齋藤　豊三
齋藤　輝峰
冨樫　富雄
成田　仙一
半沢　健雄

三浦　信次
渡会　偵祐
昭和41年卒（73回）
五十嵐　丕
伊藤恵美子
栗本　浩
栗本　絢子
小杉　喜宏
齋藤　耕治
佐藤　巌
土田　利彦
富樫　繁明
永井　憲雄
橋本　暁
平山　静夫
古野　章三
吉田　隆一
渡辺　紘規
昭和42年卒（74回）
青島　時子
秋野　裕
浅子　正夫
五十嵐　博
井上　茂
岡部　博
奥山　開八
工藤　儀雄
木戸美記子
衣笠　博子
木根淵真一
小池　一司
坂田　敬一
坂本　誠
坂下　順子
佐藤　直嗣
佐藤　憲
佐藤　秀子
佐藤　潔
真田　充
白幡　孝
鈴木　孝純
杉浦　幸夫
高坂勢津子
竹島　博樹
千田　優子
真島　俊夫

三浦　幹夫
吉住　正
昭和43年卒（75回）
阿部　正
五十嵐清助
石黒　義昭
梅津　千里
岡部　次樹
菅野　京子
小川　真
坂本　妙子
佐藤　英一
新野由紀子
丸田　孝明
昭和45年卒（77回）
伊藤　豊
梅津　準士
大滝　実
清原　晃
今野　千保
佐藤久仁子
庄司　秀昭
菅原　誠二
杉山　恵子
三浦　一郎
村田　敏
昭和47年卒（79回）
奥村　智子
加藤　英雄
小林　桂子
小林　好雄
丹下　義英
野間　耕治
昭和48年卒（80回）
榎本　新也
坂田　俊次
昭和49年卒（81回）
石川　康博
登坂　恵理
昭和50年卒（82回）
今野　りつ
林　みき
若木　保
昭和51年卒（83回）
奥山　宏子
佐藤　雄喜

渡邊　春信
昭和52年卒（84回）
小林　欽哉
鈴木　良清
三木　美智
三浦　正巳
和田　季理
昭和53年卒（85回）
秋場　守
大泉　正
加藤　光保
菊地　俊美
篠崎　実
中込真知子
昭和54年卒（86回）
小池　悟
昭和55年卒（87回）
相沢　政男
飯野　文
飯野　慎也
石塚　幹夫
石川　透
小松　昭
小池　一史
広瀬　均
昭和57年卒（89回）
岡本　あい
下田　貴子
関口　太郎
渡部　英一
飯田　悟
佐藤　仰
迎田　洋
平成11年卒（106回）
渡邊　智史
平成14年卒（109回）
東海林美紀
平成23年卒（118回）
安部　貴文

……以上 275 名

東京鶴翔同窓会　平成24年度収支決算書

（平成24年1月1日～12月31日）

平成24年度　一般会計収支決算書

（単位：円）

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	638,105	事務費	48,212
		（印刷費）	21,000
年会費収入	1,094,000	（通信運搬費）	18,630
		（振込料金・手数料）	1,300
雑収入等	182,084	（雑費）	7,282
（役員会臨時会費）	182,000	会議費	596,627
（預金利息）	84	広告費	21,000
		ホームページ管理費	150,000
旧特別会計より繰入（定期預金）	2,271,011		
		総会会計補てん	201,183
		仮払い金	625,248
		25年度総会実行委員会活動費	380,000
		25年度総会事務局活動費	245,248
		次期繰越金	2,542,930
合計	4,185,200	合計	4,185,200

一般会計　次期繰越金内訳	
現金	60,233
郵便振替（口座残高）	71,202
普通預金・荘内銀行	133,629
普通預金・三井住友銀行	6,855
旧特別会計：定期預金・荘内銀行	2,271,011
合計	2,542,930

第42回　東京鶴翔同窓会総会　決算書

収入の部

（単位：円）

科目	内訳 適用	金額	費目計
総会会費納入者	257名		
総会会費	年長者　：20×4,000	80,000	1,976,000
	一般会員 237×8,000	1,896,000	
広告掲載費	20,000 x 62 件	1,240,000	1,340,000
	10,000 x 4 件	40,000	
	40,000 x 1 件	40,000	
	協賛　10,000 x 2 件	20,000	
お祝金	10,000x15 名 (来賓)		150,000
臨時会費	実行委員会費		8,000
チャリティー　震災復興	クラゲ手拭い　300 本 ×1,000	300,000	380,083
チャリティー　選手応援	選手応援出場支援チャリティー	80,083	
合計			3,854,083

支出の部

（単位：円）

科目	内容	内訳 適用	金額	費目計
総会費	会場費用（サンケイプラザ支払い費用）	控室	83,000	1,907,100
		機材、備品、ピアノ、その他	30,500	
		飲食費用	1,793,600	
		・日本茶セット　120 x 30＝3,600		
		・同総会パック　7,000 x 230＝1,610,000		
		・パック外　3,000 x 60＝180,000		
	持込み食材	孟宗汁、ダダチャ豆、漬物、笹巻き	94,460	94,460
	土産	来賓、ゲスト　20 x 1,500+ 送料	33,960	33,960
	イベント費	真島さんと仲間　謝礼他	143,630	143,630
	持込酒代		168,784	168,784
会報発行費	印刷費	1．印刷費：平河工業社（会報、封筒他）	297,949	443,049
		2．会報編集費	141,000	
		3．郵便局払込用紙印字（4,000 枚）	4,100	
会報発送費	通信運搬費	会報等発送委託費	382,778	413,841
		会員名簿出力委託費（サラト）	31,063	
返信はがき後納分	通信運搬費	4 月 5,005　：5 月 34,255　：6 月 2,535	42,855	42,855
チラシ作成費	印刷費	総会 HP チラシ作成	4,800	4,800
振込料金・手数料		広告掲載料 67 件×120、総会費:151×120 その他	54,565	54,565
実行委員会活動費		1．印刷費	42,457	368,139
		2．通信費	45,190	
		3．会議費	225,858	
		4．雑費	54,634	
チャリティー	手拭い	制作費：本体 139,650　シール他 :10,350	150,000	380,083
		義援金として 150,000 寄付 + 経費	150,080	
	パラリンピック	支援金 80,000（齋藤紳一氏へ）+ 経費	80,083	
合計				4,055,266
収支差引		一般会計への繰り入れ		△201,183
総合計				3,854,083

本会の収支決算
（平成24年度一般会計、第42回総会会計）
について、厳正に監査をしたところ、
その執行は適正であると認められます。

平成25年4月4日会務監査役

村田 敏 ㊞　秋場 守 ㊞

年会費（維持会費）納入は郵便局の機械振込（ATM）で!!
手数料は40円違います。

24年度 年会費納入者名簿(卒業年次別)

～もっともっと広げよう! 故郷と母校の絆～

昭12年 加藤　眞

14年 佐藤　重俊

15年 宮崎　富哉
渡会　春雄

17年 桑島　栄輔
菅原　藤夫

18年 青柳　恵一
渡部　士郎

19年 佐藤　昭一
佐藤　隆
菅原　隆輔
土岐　良次
野澤　秀二
吉澤　四郎

20年 五十嵐文夫
遠藤　一二
尾形　昌夫
児玉　之宏
斉藤　昌雄
寒河江辰巳
旅河　伸介
皆川　健行

21年 佐藤　四良
齋藤　伸
佐藤　良三
菅原　三郎
富樫　泰教
中里　欣一
長谷川久一
吉田　晃二

23年 伊東　良次
竹内　伸吉
宗片　光一

24年 阿部　善之
植木　清哉
小野田善夫
川島幸之輔
菊池　安行
柴田　卓爾
半田　一郎
村井　正治
渡部　昇一

25年 伊藤茂登二
榎本　雄行
門野　卓
今野　利男
佐々木睦雄
菅原　良雄
鈴木　雄三
細井　地久
丸谷　錦吾

26年 阿部　純二
阿部　忠志
板垣　清
板垣　省吾
伊藤　幸也
梅津　迪子
川島　協
窪田　騰
斎藤　健三
斎藤　祐輔
佐藤　俊彦
佐藤　四郎
佐藤　誠
田部井恭子
地主　幸右
長濱　自明
野村　善吉
長谷川　実

早川　恒子
匹田　誠
廣瀬　信幸
本間　章介
増田　幸子
三浦　昭作
皆川　英明
山口　鶴子
横山　隆治

27年 池田　輝之
石井　忍
石田　晋
石橋　幹雄
大滝　哲郎
工藤　泰久
桑原　貫次
小山由美子
齋藤　信次
齋藤　優三
佐藤　成生
佐藤　大
佐藤　瑛子
中村　順一
西　秀
橋本　信子
増田　浩子
松本　直明
丸山　智子
山越　廉
渡部　啓三

28年 安部　正
加藤　誠
功刀　栄子
小杉　信
佐久間美津雄
杉本　欽也
鈴木　二郎
竹澤雅二郎
竹下　昌子
藤滝　俊
前橋　秀
水原　繁美
村上　文昭
茂木　勲

29年 五十嵐豊雄
五十嵐　梅
石川　悌二
石川　宇女
上原　圭子
江川美津子
大倉　弥生
大澤　弘之
大瀬　振
岡田　すみ
小田　里子
落合　良
加藤　宣
金井　功弥
川島　譲
菊地　晴
権藤　泰浩
坂　寛
坂本　玲子
佐藤　千枝
佐藤　啓輔
佐藤　正吾
志村　穎子
武田　弘二
武田　好子
土田　栄治
長濱　良子
中村　姚
長谷川きみ子
弘中　郁子
福井　博
船岡　栄子
本間　純子

前田　洋憲
三浦　郁也
南　かね糸
村井三千代
山中　昊吉
山内　敬一
渡辺美枝子

30年 飯塚　進
五十嵐隆二
池下　豊子
池田　惇二
石田　和子
大川　重一
奥田　文夫
奥山　綏
佐藤　玲子
佐藤　新市
佐藤　亮介
鈴木　清
高橋　徹
高橋　進
武田　友樹
田澤　政一
富樫　薫
長崎　種子
山口　武
若林　庸夫

31年 五十嵐憲治
礒見　明子
板垣　善博
榎本　堯
大瀧　幸克
大滝　恒雄
岡田　恒祐
鎌田　喜子
斉藤　幸恵
崎村　茂久
志賀　道武
重山　貞夫
諏訪百美子
諏訪　浩
富樫　稔
外池　連子
中村　君子
中山　千史
畑田　治範
平田　宏
古野　八郎
保坂　徹
本間　克彦
三井　清文

32年 新井　健一
生田　俊一
榎本　克弘
大井　浩司
岡部鉄太郎
小澤　欣子
河野　景子
小花　吉彦
齋藤　弘
佐藤　忠夫
佐藤　隆三
鈴木　忠昭
鈴木　啓五
高田　稔
友澤萬里子
永澤萬里野
中村　愃
難波　茂丸
久松　正章
真島　知夫
真嶋　美弥
宮本　慶子
山田　祚穂
鑓水　宜子
渡部　賢一

33年 阿部　文治
泉谷　文穂
板倉　利
加藤　有紘
小松原隆治
齋藤　正幸
齋藤　俊輔
佐藤　安行
佐藤　隆
澤井　俊弥
寒河井　正
佐藤　和敏
佐藤　征洋
佐藤　志郎
菅　徹
菅井　誠一
菅原　健
高橋トヨセ
武田　二郎
林　広弥
伴　雄次
星野　武紘
堀　正俊
真嶋　洋三
松島　邦
丸山　佳雄
三浦　勝
森田　良治
吉田　勲生

34年 梅木　実
足達　哲郎
阿部　辰郎
板垣　正明
大川　政紀
柏谷　英樹
門脇　厚司
門脇　艶子
佐藤　紘一
佐藤　誠
佐藤千久郎
鈴木　一
中嶋　茂
橋本　健二
三矢　正士
百瀬　義広
安野　正紀
鷲田　誠治
渡部　宗助

35年 阿部　昭雄
阿部　茂弘
五十嵐志郎
池田　晃
植木　克彦
大沼　順耳
粕谷　淳二
近藤　進
齋藤　敬治
坂本　紀夫
佐藤　堅一
佐藤　彰
猊倉　祐子
鈴木　郁男
寺嶋　成晃
富樫　喜孝
若松　浩夫
渡辺　恂

36年 亀井　篤
冨樫　惇
池田　孝次
太田　久
小山田　博
冠木　敦子
栗田　一洋
黒坂　惇
今間　洋一
櫻井　孝子
佐藤清四郎
佐藤　勉
佐藤　松枝
佐藤　久喜
荘司　保治
菅原　実
陶山　宏
高島　由美
本間　敬士
真島　浩子
渡部　洋

37年 青木　祐二
安倍　良男
犬川　二郎
犬塚　吉士
岡田　睦

木村　清彦
工藤　雅子
黒羽根恒子
古村　一枝
今野　彦雄
斎藤　誠
齋藤　征士
斎藤　博子
齋藤耕一郎
寒河井　正
佐藤　和敏
佐藤　征洋
佐藤　志郎
菅　徹
菅井　誠一
菅原　健
高橋トヨセ
武田　二郎
林　広弥
伴　雄次
星野　武紘
堀　正俊
真嶋　洋三
松島　邦
丸山　佳雄
三浦　勝
森田　良治
吉田　勲生

38年 秋場　有弥
五十嵐房夫
板垣　健輔
上野　尚之
太田　司郎
太田　良弘
尾形　文子
上林　治
後藤　広喜
小林　啓二
斉藤　淑人
寒河江孝允
佐藤　高志
佐藤　安子
志賀　嘉美
庄司　誠
菅原　司
地主　忠夫
忠鉢　仁
土井征一郎
富樫　次男
土岐　寛
長江　和子
中西　一角
芳賀　俊郎
福原　正和
細野　美保
百瀬恵美子

39年 矢吹　静子
阿部　良一
五十嵐耕三
五十嵐　功
板垣　勝男
小松　茂樹
佐藤　祐一
菅原　克己
相馬　省記
山田　悟

40年 犬塚　恒士
岩城　清一
上野　藤吉
河西　美鈴
兼子　久
小鷹　光雄
斉藤　輝峰
齋藤　豊三
佐久間照正
鈴木　斉
高橋　義昭

伊達由美子
冨樫　富雄
土岐　紀子
成田　仙一
半沢　健雄
三浦　信次
渡会　偵祐

41年 五十嵐　丕
伊藤恵美子
大沼　渉
栗本　絢子
栗本　浩
小杉　喜宏
齋藤　彌市
齋藤　耕治
笹原　研
佐藤　義廣
佐藤　巌
髙嶋　勝平
髙田　京子
髙橋　正良
土田　利彦
富樫　繁明
戸田　幸一
永井　憲雄
中村　正彦
成沢　義明
新村　紀子
橋本　暁
平山　静夫
広木由美子
古野　章三
松本　節子
丸山　治
嶺田新太朗
吉田　隆一
渡辺　紘規
渡辺　勉
渡部　逸郎

42年 青島　時子
秋野　裕
浅子　正夫
五十嵐　妙
五十嵐　博
井上　茂
奥山　開八
木戸美記子
衣笠　博子
小池　一司
高坂勢津子
坂下　順子
坂田　敬一
坂本　誠
佐藤　潔
佐藤　直嗣
佐藤　憲
佐藤　秀子
真田　充
白幡　孝
杉浦　幸夫
鈴木　孝純
舌津　一良
千田　優子
真島　俊夫
吉住　正

43年 阿部　正
五十嵐清助
石黒　義昭
伊藤　高夫
梅津千里
岡部　次樹
小川　真
海藤由紀夫
菅野　京子
坂本　妙子
佐藤　英一
塩見　厚子

島本　泰子
進藤　仁
新野由紀子
田中　眞一
伴　和香子
丸田　孝明
若松　秀一

44年 遠藤　隆
小野寺　修
佐藤　幹夫
保多　由子

45年 五十嵐　章
伊藤　豊
梅津　準士
大滝　実
清原　晃
黒川　俊美
今野　千保
齋藤　順治
佐藤久仁子
庄司　秀昭
菅原　誠二
杉山　恵子
保坂　裕子
槇田　順二
三浦　一郎
村田　敏

46年 奥村　智子
加藤　英雄
小林　桂子
丹下　義英
野間　耕治
畑山　裕子

47年 佐藤　正志

48年 井ノ口明子
榎本　新也
坂田　俊次
布川　毅

49年 登坂　恵理
石川　康博
乙幡　利明
蒲　淳子
吉住　明彦

50年 荒木　陽子
荒木　厚
上野聡一郎
今野　りつ
白岩　真彦
林　みき
村山　郁子
若木　保
渡部　尚登

51年 江部　信夫
大須賀幸子
大戸　伸一
奥山　宏子
齋藤　和春
佐藤　雄喜
渡邊　春信
渡邊ひとみ

52年 荒船　禎子
小林　欽哉
鈴木　良清
富樫　嘉美
成田　伸
三浦　正巳
三浦　光
三木　美智
和田　季理

53年 大泉　正

加藤　光保
菊地　俊美
佐藤　友則
篠崎　実
秋場　守
中込真知子
福原南津子

54年 小池　悟
新川　一枝
横屋　一弥

55年 飯野　文
飯野　慎也
石川　透
石塚　幹夫
小池　一史
小松　昭
広瀬　均

57年 小泉　智和
大塚　明子
下田　貴子
関口　太郎
岡本　あい
百瀬　義徳
本間　康秀
渡部　英一

58年 宮崎和加子

59年 大作あゆみ

60年 中島　浩子
脇山　伸子

63年 飯田　悟
大泉　仁晴
佐藤　仰
迎田　洋

平元年 福守　久子

平 2年 荒沢　正敏

平 3年 伊達　丈浩

平 8年 野尻　善之

平11年 松下　由紀

…以上 560 名

第42回 東京鶴翔同窓会総会 出席者名簿

平成24年6月16日(土) 大手町サンケイプラザ

ご 来 賓

鶴岡市市長代理 東京事務所
鈴木　泰行 様

首都圏鶴岡会 理事
奥山　博 様

如松同窓会 東京支部 常任幹事
藤木　道子 様

東京紫紺同窓会 事務局長
齋藤　常夫 様

鶴岡南高等学校 教頭
門田　正彦 様

城畔同窓会 関東総支部 支部長
小林　武 様

黎明同窓会 関東支部 副支部長
尾崎　光子 様

東京亀城会 会長
相川　俊明 様
東京亀城会 副会長
元木　徹 様

鶴岡南高等学校同窓会 会長
石黒　慶一 様

城畔同窓会 関東総支部 副支長
阿部　順二 様

黎明同窓会 関東支部 副支部長
黒沢　朝恵 様

山形鶴翔同窓会 会長
加賀山　隆士 様

如松同窓会 東京支部 支部長
福田　美恵 様

東京紫紺同窓会 会長
佐藤　修三 様

ご 招 待

庄内イイナ会
鶴田　洋子 様

庄内日報 東京支局
足達　哲郎 様

藤村女子中学・高等学校
坂田　敬一 様

香取神社
小林　桂子 様

榎本公認会計士事務所
榎本　堯 様

㈱鶴岡自動車学園
齋藤　征士 様

(株)レッドアンドイエロー
井上　茂 様

(株)出羽庄内地域デザイン
小林　好雄 様

東京尾浦会
加藤　有紘 様

(株)フレッシュシックスオー
齋藤　輝峰 様

村田敏法律事務所
村田　敏 様

鶴翔塾
篠崎　実 様

ギタリスト
片桐　幸男

(株)コムズ
板垣　正明 様

(株)ミウラトレーディング
三浦　幹夫 様

(株)アドリブ
伊藤　豊 様

メットライフアリコ
大泉　正 様

ボーカリト
明光院正人

むかえだ歯科クリニック
迎田　洋 様

(株)スタジオ・オクト
野間　耕治 様

竹の露合資会社
相沢　政男 様

ドラマー
阿野　次男

一般参加者

昭和12年卒（45回）
加藤　眞

昭和15年卒（48回）
宮崎　富哉
渡会　春雄

昭和18年卒（51回）
青柳　恵一
渡部　士郎

昭和19年卒（52回）
土岐　良次
野沢　秀二
吉澤　四郎

昭和20年卒（53回）
遠藤　一二
尾形　昌夫
寒河江辰巳
斉藤　昌雄
皆川　健行

昭和21年卒（54回）
佐藤　良三
富樫　泰教

昭和23年卒（55回）
宗片　光一

昭和24年卒（56回）
植木　清哉
菊池　安行

昭和25年卒（57回）
鈴木　雄三
丸谷　錦吾

昭和26年卒（58回）
板垣　清
川島　協
窪田　騰
地主　幸右
早川　恒子
本間　章介
匹田　誠
増田　幸子

昭和27年卒（59回）
石井　忍
池田　輝之
石橋　幹雄
桑原　貫次
小山由美子
斎藤　優三
佐藤　成生

中村　順一

昭和28年卒（60回）
小杉　信
佐久間美津雄
前橋　秀
茂木　勲

昭和29年卒（61回）
五十嵐豊雄
大瀬　振
大澤　弘之
落合　良
佐藤　正吾
相馬　和彦
菊地　晴
権藤　泰浩
山中　昊吉

昭和30年卒（62回）
五十嵐隆二
大川　重一
奥田　文夫
佐藤　新市
佐藤　亮介
高橋　進
高橋　徹

昭和31年卒（63回）
榎本　堯
大滝　恒雄
岡田　恒祐
鎌田　喜子
諏訪　浩
諏訪百美子
外池　連子
富樫　稔
畑田　治範
平田　宏
本間　克彦

昭和32年卒（64回）
榎本　克弘
大井　浩司
小花　吉彦
佐藤　隆三
鈴木　忠昭
友澤萬里子
中村　愃
永澤萬里野
難波　茂丸

宮本　慶子
渡部　賢一

昭和33年卒（65回）
阿部　文治
板倉　利
小松原隆治
齋藤　正幸
佐藤　安行
澤井　俊弥
加藤　有紘
平田　惇
本間　義信
渡部　明

昭和34年卒（66回）
足達　哲郎
板垣　正明
梅木　実
大川　政紀
粕谷　英樹
佐藤　紘一
佐藤　誠
安野　正紀
中嶋　茂

昭和35年卒（67回）
大沼　順耳
齋藤　敬治
坂本　紀夫

昭和36年卒（68回）
池田　孝次
太田　久
亀井　篤
冠木　敦子
佐藤　勉
櫻井　孝子
陶山　宏
荘司　保治
本間　敬士
渡部　洋
冨樫　惇

昭和37年卒（69回）
安倍　良男
犬塚　吉士
岡田　睦

斎藤　誠
佐藤　和敏
佐藤　志郎
菅原　健
菅　徹
高橋トヨセ
武田　二郎
林　広弥
星野　武紘
松島　邦
三浦　勝
森田　良治

昭和38年卒（70回）
秋場　有弥
五十嵐房夫
板垣　健輔
太田　良弘
尾形　文子
上林　治
小林　啓二
斉藤　淑人
佐藤　高志
志賀　嘉美
庄司　誠
富樫　次男
地主　忠夫
土岐　寛
土井征一郎
中西　一角
長江　和子
芳賀　俊郎
福原　正和
百瀬恵美子

昭和39年卒（71回）
五十嵐耕三
佐藤　祐一
菅原　克己
相馬　省記

昭和40年卒（72回）
兼子　久
小鷹　光雄
齋藤　豊三
齋藤　輝峰
冨樫　富雄
成田　仙一
半沢　健雄

三浦　信次
渡会　偵祐

昭和41年卒（73回）
五十嵐　丕
伊藤恵美子
栗本　浩
栗本　絢子
小杉　喜宏
齋藤　耕治
佐藤　巌
土田　利彦
富樫　繁明
永井　憲雄
橋本　暁
平山　静夫
古野　章三
吉田　隆一
渡辺　紘規

昭和42年卒（74回）
青島　時子
秋野　裕
浅子　正夫
五十嵐　博
井上　茂
岡部　博
奥山　開八
工藤　儀雄
木戸美記子
衣笠　博子
木根淵真一
小池　一司
坂田　敬一
坂本　誠
坂下　順子
佐藤　直嗣
佐藤　憲
佐藤　秀子
佐藤　潔
真田　充
白幡　孝
鈴木　孝純
杉浦　幸夫
高坂勢津子
竹島　博樹
千田　優子
真島　俊夫

三浦　幹夫
吉住　正

昭和43年卒（75回）
阿部　正
五十嵐清助
石黒　義昭
梅津　千里
岡部　次樹
菅野　京子
小川　真
坂本　妙子
佐藤　英一
新野由紀子
丸田　孝明

昭和45年卒（77回）
伊藤　豊
梅津　準士
大滝　実
清原　晃
今野　千保
佐藤久仁子
庄司　秀昭
菅原　誠二
杉山　恵子
三浦　一郎
村田　敏

昭和47年卒（79回）
奥村　智子
加藤　英雄
小林　桂子
小林　好雄
丹下　義英
野間　耕治

昭和48年卒（80回）
榎本　新也
坂田　俊次

昭和49年卒（81回）
石川　康博
登坂　恵理

昭和50年卒（82回）
今野　りつ
林　みき
若木　保

昭和51年卒（83回）
奥山　宏子
佐藤　雄喜

渡邊　春信
吉住　正

昭和52年卒（84回）
小林　欽哉
鈴木　良清
三木　美智
三浦　正巳
和田　季理

昭和53年卒（85回）
秋場　守
大泉　正
加藤　光保
菊地　俊美
篠崎　実
中込真知子

昭和54年卒（86回）
小池　悟

昭和55年卒（87回）
相沢　政男
飯野　文
飯野　慎也
石塚　幹夫
石川　透
小松　昭
小池　一史
広瀬　均

昭和57年卒（89回）
岡本　あい
下田　貴子
関口　太郎
渡部　英一
飯田　悟
佐藤　仰
迎田　洋

平成11年卒（106回）
渡邊　智史

平成14年卒（109回）
東海林美紀

平成23年卒（118回）
安部　貴文

……以上 275 名